

令和4年度

第六次青梅市生涯学習推進計画

進捗状況報告書

(令和3年度分事業)

青梅市生涯学習推進本部

はじめに

青梅市では、生涯学習施策を計画的に推進するため、令和元年度を初年度とする「第六次青梅市生涯学習推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

この報告書は、「第六次青梅市生涯学習推進計画」の進捗状況について年次報告として作成したものです。

生涯学習の理念である、市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向けて、計画の総合的かつ横断的な推進を図ります。

令和4年10月

目 次

第 1 章

I 計画の概要	7
II 施策の展開	10
III 青梅市事業計画一覧	16

第 2 章

計画の進捗状況調査報告書	23
1 生涯学習の基礎づくり	25
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	25
(2) 小・中学校教育の充実	26
(3) 家庭・学校・地域の連携	28
2 生涯学習の場と機会の拡充	30
(1) 施設の整備と有効活用	30
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	30
(3) とともに生きるための学習機会の充実	35
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	37
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	39
3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から	42
(1) 地域コミュニティ活動への支援	42
(2) 地域人材の育成と活用	43
4 学習情報提供と学習相談の充実	46
(1) 学習情報提供の充実	46
(2) 学習相談の充実	47
5 生涯学習推進体制の確立	48
(1) 推進体制づくり	48
(2) 基盤づくり	48

第 1 章

I 計画の概要

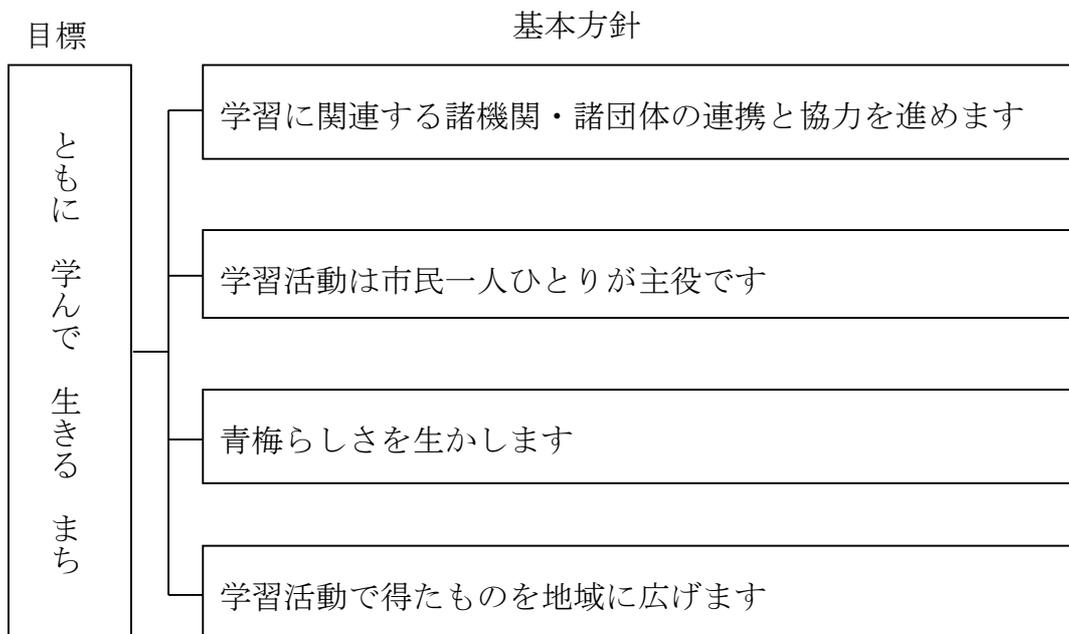
II 施策の展開

III 青梅市事業計画一覧

I 計画の概要

第六次青梅市生涯学習推進計画

1 生涯学習推進の目標と基本方針



市民が生涯を通じ、主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に生かしていくことができる「ともに学んで生きるまち」の実現を目指し、いつでも、どこでも、誰でもが学び、楽しみ、その成果が豊かな地域づくりに反映される生涯学習の推進を図ります。

また、学習成果の総合的な発表の場や生涯学習の基盤となる施設の整備を図ります。

2 計画策定の趣旨

青梅市では、市民一人ひとりが生涯を通じて地域社会の中でともに学び・ともに教え合いながら、生きがいのある充実した生活を送ることができるような「生涯学習社会」を築くために、生涯学習推進計画を策定します。「ともに学んで生きるまち」を目指して、市と市民のパートナーシップをもとにした生涯学習のまちをつくるために、市が実施している生涯学習関連の諸事業を体系化するとともに、市内生涯学習関係機関団体、地域住民との連携・協働により、諸施策の効果的な展開を図っていきます。

3 計画の期間

令和元年度から令和5年度までの5年間とします。

この推進計画は、第6次青梅市総合長期計画（平成25年度から令和4年度まで）を上位計画とし、他の部門別計画とも整合性を図っていきます。

4 計画の指針

青梅市における生涯学習に関する施策の総合的・効果的な推進を図り、生涯学習に関する既存施策を総合的な観点から体系化するとともに、将来において展開する必要がある施策の考え方を示します。

5 計画の範囲

- (1) 生涯学習社会の形成に向けての行政の役割を明記するものですが、計画の推進に当たっては、生涯学習に関連する各種団体・機関等と連携を図りながら推進します。
- (2) 対象となるのは、教育、文化、スポーツのほか、趣味やレクリエーション、福祉、保健衛生、防災、まちづくり等、行政や各種団体・機関等で行う幅広い分野の学習事業とします。

6 生涯学習とは

生涯学習とは、市民一人ひとりが生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う学習活動の総称です。すなわち、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等様々な場や機会において行う学習の意味で用いられ、学習の形態についても、個人学習や、公共機関等が行う講座・講演会、民間教育機関が行う講座、通信教育、企業や職業訓練施設等で行われる学習、グループ・サークル・団体活動の中で行われる学習など、多岐にわたります。

生涯にわたって学ぶという事は、ライフスタイルやビジネスを充実させるための知識学習、職業教育だけでなく、生きがいや心の豊かさに結びつきます。また、学習する向上心が地域の活性化をもたらし、学習活動を通してこそ、よりよい人間関係が生まれ、豊かで住みよい地域が実現されます。学習した人々が地域の担い手として地域づくりに参加し、学習の成果をまちづくりに活かしていくことが期待されています。

また、教育基本法では、「生涯学習の理念」という項目があり、「誰もが生涯のあらゆる場面で学習し、かつ学習した成果を生かすことができる社会」を実現しようという姿勢が明確に打ち出されています。

— スローガン —

「ともに学んでいきるまち」をめざして

O 応援します お互いに

M 学んで 教えて

E エンjoyします

みんなで 楽しむ 生涯学習

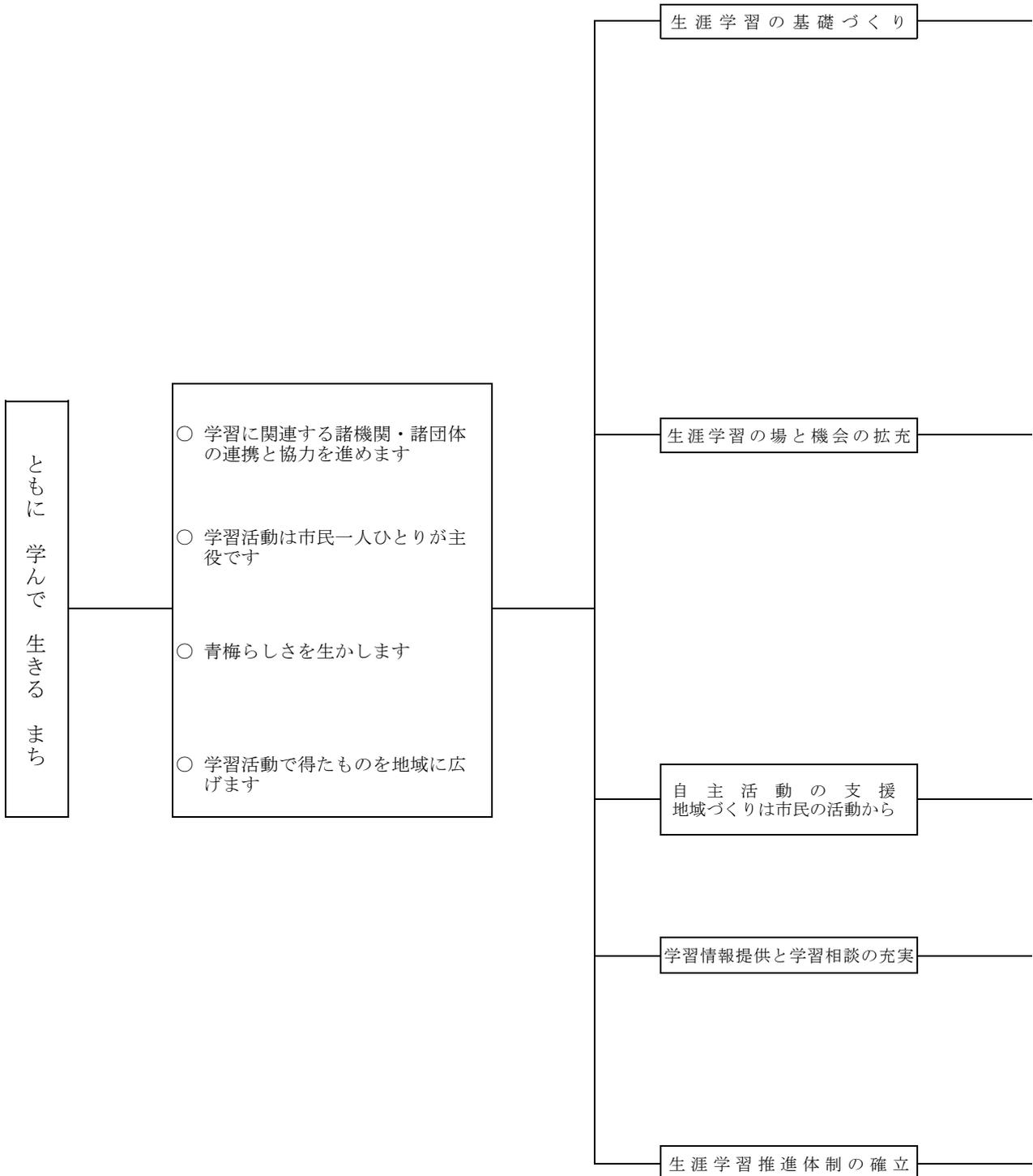
Ⅱ 施策の展開

1 計画の体系

(目標)

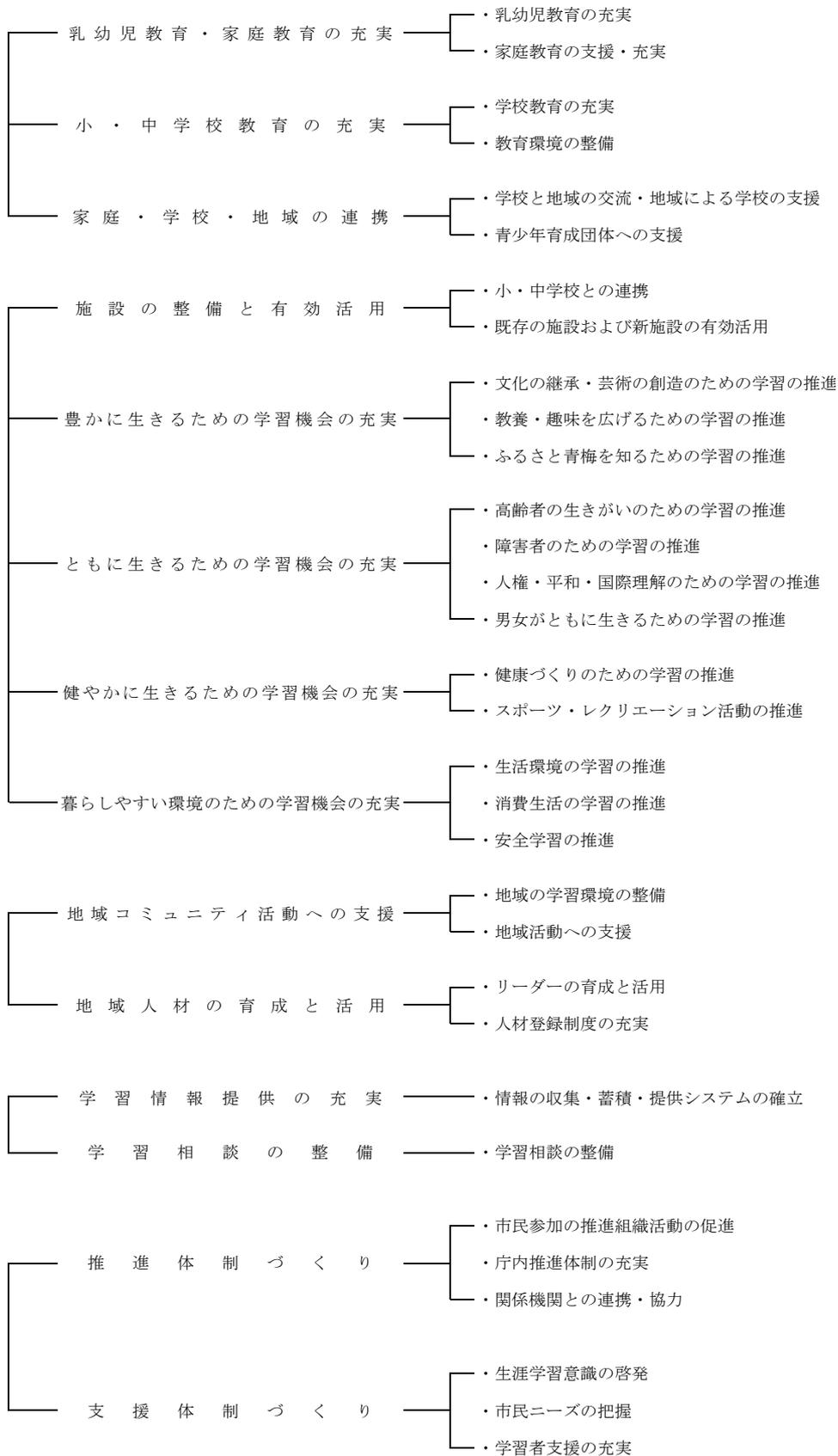
(基本方針)

(基本的施策)



(主な施策の方向)

(施策の内容)



2 基本的施策

- 1 生涯学習の基礎づくり
- 2 生涯学習の場と機会の拡充
- 3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から
- 4 学習情報提供と学習相談の充実
- 5 生涯学習推進体制の確立

1 生涯学習の基礎づくり

基本的な考え方

生涯にわたり自らが考え、創造性豊かな充実した人生を送るためには、人間形成の基礎をつくる子どもの時期に、基本的な学力や自らを成長させようという意欲、生きる力、社会生活の基本的ルールなどを身につけることが大事です。個性豊かな子どもの健全な成長を願い、家庭・学校・地域が連携して子育て支援・教育の充実を図り、地域社会全体で行われるような環境を目指します。

子どもを取り巻く学習環境を見ると、少子化・核家族化の進展と同時に、家庭教育力・地域教育力の低下が叫ばれています。また、いじめ、不登校等、様々な問題が子ども達に重圧をかけてきています。このようなことから、各保育園で行っている子育て支援事業との連携や、小・中学校との連携を含めた子育て相談、家庭教育の機会の提供など、家庭教育への支援や地域での青少年関係団体活動への支援などを通して「生涯学習の基礎づくり」に努めます。

主な施策の方向

- (1) 乳幼児教育・家庭教育支援の充実
- (2) 小・中学校教育の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携

2 生涯学習の場と機会の拡充

基本的な考え方

市民が自主的に生涯にわたって学習し、健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民一人ひとりがその能力や個性を伸ばし、「いつでも・どこでも・誰でも」学べるよう、学習の場と機会の拡充に努めます。市は、市民が持っている知識や経験を生かせるよう、コーディネーターの役割を果たし、学習内容を充実させていきます。

また、新しく開館する青梅市文化交流センターでは、市民のアイデアや意見等に柔軟に対応できる運営体制を築くことを目指し、地域の人材を生かしたプロデューサーを配置します。さらに、インターネットの活用をはじめ、様々な媒体を利用した生涯学習に関する情報提供の充実に努め、市民の利便性の向上を図ります。

主な施策の方向

- (1) 施設の整備と有効活用
- (2) 豊かに生きるための学習機会の充実
- (3) とともに生きるための学習機会の充実
- (4) 健やかに生きるための学習機会の充実
- (5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から

基本的な考え方

地域づくり・まちづくりは市民の着実な活動から始まります。団体・サークル等の自主活動を通じて、仲間とのふれあいが生まれ、人々との関係が豊かになり、お互いに学び合い、教え合うような人間関係が形成されます。自主的な地域団体・生涯学習サークルの活動が活発になるよう応援するため、団体等の自主性を基本として、活動の場の提供や支援をしていきます。

また、生涯学習は本来行う事自体が楽しいものですが、学習の成果を地域社会に生かすことは、学習者にとって自己の成長を確認できるなど、大きな意味も持ちます。生涯学習を通じて得た学習の成果を、地域やボ

ランティア活動に生かし、市民同士が教え合い、学び合う環境を整備し、生涯学習が地域の市民の手で推進していく体制の確立を図ります。

主な施策の方向

- (1) 地域コミュニティ活動への支援
- (2) 地域人材の育成と活用

4 学習情報提供と学習相談の充実

基本的な考え方

市民一人ひとりの学びの意思・意欲を大切にするとともに、学習活動が活発に行われるためには、生涯学習情報を「いつでも・どこでも・誰でも」入手できることが求められています。

このことから、広報等の印刷物による学習や機会の場・方法などに関する情報をはじめ、インターネット等様々な媒体を利用して情報を提供し、生涯学習に関する情報を発信することで、市民の生涯学習を支援します。

主な施策の方向

- (1) 学習情報提供の充実
- (2) 学習相談の整備

5 生涯学習推進体制の確立

基本的な考え方

青梅市における生涯学習関連事業は、教育行政だけでなく、一般行政においても活発に行われています。市民の自主的な学習活動を効果的に支援していくために、現在各事業の担当課で独自に企画・実施されている生涯学習事業を、それぞれの事業の目的を大切にしながら、市民の生涯学習の推進という視点から捉え直し、「生涯学習推進本部」や「総合教育会議」などを通じて情報を共有し、相互に連携・協力関係を築いていくことが大切です。

また、各課の連携・協力関係を築くことで、類似の事業が重複して実施されることを避け、バランスよく効率的に事業を実施していくことが

できます。

さらに、学習の主体である市民の意見を生涯学習の推進施策に反映させていくことが大切であり、電子申請による講座企画等のアイデア受付機能を活用し、市民の意見にもとづく講座を実施する等、施策の充実を図ります。

また、市と市民が協力しながら施策を進めていくための情報交換や意見交換の場が必要です。このことから、市の推進組織である青梅市生涯学習推進本部と、学識経験者や生涯学習関係団体の代表者からなる青梅市生涯学習推進市民会議の連携・協力関係を推進し、生涯学習推進体制の充実を図ります。

主な施策の方向

- (1) 推進体制づくり
- (2) 支援体制づくり

Ⅲ 青梅市事業計画一覧

No.	事業名	所管課等	頁	
1 生涯学習の基礎づくり			25	
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実				
1	プレママクラス（母親・両親）学級	健康課	25	
2	乳幼児健康相談	健康課		
3	子育てひろば事業	子ども家庭支援課		
4	子育て支援事業	子ども家庭支援課		
5	家庭教育学級	社会教育課		
6	おはなし会	社会教育課（図書館）		
7	子ども読書活動推進事業講演会	社会教育課（図書館）		
8・9・10	ブックスタート事業	健康課・子ども家庭支援課・社会教育課（図書館）		
(2) 小・中学校教育の充実				
11	特別支援学級の運営	学務課	26	
12・13	教育相談機関の充実	指導室・学務課		
14	適応指導教室の充実	指導室		
15	情報教育の推進	指導室		
16	芸術・技術教育の支援	指導室		
17	スポーツ教育の振興	指導室		
18	教員研修	指導室		27
19	教育研究支援	指導室		
20	教科指導等の充実	指導室		
21	進路指導の充実	指導室		
22	生徒指導の充実	指導室		
23	学校防災訓練	青梅市立第二中学校		
(3) 家庭・学校・地域の連携				
24・25	P T Aの活動への支援	市民センター・社会教育課	28	
26・27	青少年委員活動	市民センター・社会教育課		
28	協働事業の支援	市民活動推進課		
29	青少年問題協議会	子ども家庭支援課		
30・31	青少年対策地区委員会事業への支援	市民センター・子ども家庭支援課	29	
32	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	社会教育課		
33	放課後子ども教室	社会教育課		
34	職場体験事業	社会教育課（図書館）		
35	図書館と学校図書館との連携事業	社会教育課（図書館）		
36・37	地域人材の活用	指導室・社会教育課		
2 生涯学習の場と機会の拡充			30	
(1) 施設の整備と有効活用				
38・39	学校施設開放	スポーツ推進課・社会教育課	30	
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実				
40	多摩川1万人の清掃大会	清掃リサイクル課	30	
41	河川清掃活動援助	清掃リサイクル課		
42	福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者支援課		
43	地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者支援課		
44	敬老会	高齢者支援課		
45	観梅市民まつり	商工観光課		
46	後援等協力事業	商工観光課		
47	昭和レトロ商品博物館	商工観光課		
48	青梅赤塚不二夫会館	商工観光課		31
49	シイタケ栽培講習会	農林水産課		
50	青梅市農業祭	農林水産課		
51	炭焼き体験教室	農林水産課		

No.	事業名	所管課等	頁
52	成人式	社会教育課	31
53	掌理団体定期演奏会等	社会教育課	
54	市民大学	社会教育課	
55	農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	社会教育課	
56	豊かに生きるための教室・講座等の実施	社会教育課	
57	16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	社会教育課	32
58	中央図書館講座等	社会教育課（図書館）	
59	中央図書館での工作及び手芸教室	社会教育課（図書館）	
60	中央図書館での上映会	社会教育課（図書館）	
61	展示・普及事業	文化課（郷土博物館）	33
62	文化財の調査・保護・活用	文化課（郷土博物館）	
63	文化財の普及・啓発	文化課（郷土博物館）	
64	吉川英治記念館の運営事業	文化課（吉川英治記念館）	34
65	展示・普及事業	文化課（美術館）	
66	明るい選挙推進講演会	選挙管理委員会	
67	親子農業体験会	農業委員会	35
68	蛍を見る夕べ	商工観光課・青梅市観光協会	
69・70	生涯学習フェスティバル（釜の淵新緑祭）	社会教育課・文化課	
(3) ともに生きるための学習機会の充実			
71	国際交流活動支援	秘書広報課	35
72	通訳ボランティア	秘書広報課	
73	平和の写真展の開催	市民安全課	
74	男女平等講座の開催	市民活動推進課	
75	女性の就業支援	市民活動推進課	
76	老壮大学	市民センター	
77	社会を明るくする運動	福祉総務課	36
78	家庭介護DVDの貸出し	高齢者支援課	
79	認知症サポーター養成講座	高齢者支援課	
80	家族介護教室	高齢者支援課	
81	手話講習会事業	障がい者福祉課	
82	点字図書給付事業	障がい者福祉課	
83	身体障がい者自動車運転教習事業	障がい者福祉課	
84	相談支援事業	障がい者福祉課	
85	意思疎通支援事業	障がい者福祉課	
86	青梅市障がい者サポートセンター事業	障がい者福祉課	
87	中等度難聴児発達支援事業	障がい者福祉課	
88	ともに生きるための教室・講座の企画運営	社会教育課	
89	生涯学習まちづくり出前講座	社会教育課	
90	国際理解講座	青梅佐藤財団・社会教育課	
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実			
91	介護予防講演会	高齢者支援課	37
92	介護予防教室	高齢者支援課	
93	おうめ健康まつり	健康課	38
94	健康教育	健康課	
95	健康相談	健康課	
96	おうめ健康塾	総合病院管理課	
97・98	健やかに生きるための教室・講座の企画運営	スポーツ推進課・社会教育課	39
99	各種体操教室	スポーツ推進課	
100	青梅マラソン大会	スポーツ推進課	
101	有酸素運動普及事業	スポーツ推進課	
102	スポーツ・レクリエーションフェスティバル	スポーツ推進課	
103	市民体育大会	スポーツ推進課	
104	奥多摩溪谷駅伝競走大会	スポーツ推進課	
105	屋内温水プール開放事業	スポーツ推進課	

No.	事業名	所管課等	頁
106	東京2020大会に向けた気運醸成事業	オリンピック・パラリンピック担当	39
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実			
107	広聴活動	市民安全課	39
108	交通公園日曜映画教室	市民安全課	40
109	交通公園交通安全教室	市民安全課	
110	交通安全講習会	市民安全課	
111	セーフティ教室（交通事故再現方式）	市民安全課	
112	専門相談事業	市民安全課	
113	パネル展等（消費者知識習得・被害防止）	市民安全課	
114	消費者相談	市民安全課	
115	消費生活講座等	市民安全課	
116	市民の暮らし展	市民安全課	
117	環境月間	環境政策課	
118	親水事業	環境政策課	
119	ヤマメの飼育体験教室	環境政策課	
120	動物愛護週間	環境政策課	
121	フードドライブ	清掃リサイクル課	
122	ごみ処理施設見学会	清掃リサイクル課	
123	市内一斉美化デー	清掃リサイクル課	
124	小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスター&キャッチフレーズコンクール	清掃リサイクル課	
125	ごみ減量講座	清掃リサイクル課	
126	梅の里再生に関する学びの機会の提供	梅の里再生担当	
127	暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	社会教育課	
128・129	護美拾い合戦	清掃リサイクル課・スポーツ推進課	
3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から			42
(1) 地域コミュニティ活動への支援			
130	ふらっとフォーム推進ワークショップ	企画政策課	42
131	総合防災訓練	防災課	
132	防災ハンドブックの更新・配布	防災課	
133	市民活動災害補償制度	市民活動推進課	
134	自主学习グループ支援	市民センター	
135	支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	市民センター	
136	環境美化大会	清掃リサイクル課	
137	資源回収の奨励	清掃リサイクル課	
138	地区市民運動会等支援	スポーツ推進課	
139	総合文化祭	社会教育課	
140	クリーン活動	青梅市立第一中学校	
141	多摩川1万人清掃活動	青梅市立第一中学校	
142	地域防災訓練	青梅市立第二中学校	
143	地域清掃	青梅市立第二中学校	
144	自治会運動会への参加	青梅市立第二中学校	
145	多摩川1万人の清掃大会への参加	青梅市立第二中学校	
(2) 地域人材の育成と活用			
146	防災リーダーの育成	防災課	43
147	子ども会ジュニアリーダー講習会	市民センター	
148	子ども会育成指導者講習会	市民センター	
149	地域の特性を生かした事業	市民センター	44
150	緑地管理ボランティア	公園緑地課	
151	介護予防リーダー養成講座	高齢者支援課	
152	シルバーマイスター制度	高齢者支援課	
153	吹上しょうぶ公園・梅の公園ガイドボランティア	商工観光課	
154	青梅市森林ボランティア育成講座	農林水産課	

No.	事業名	所管課等	頁
155	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進課	44
156	青少年リーダー育成研修会事業	社会教育課	45
157	講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制度	社会教育課	
158	芸術文化奨励賞	社会教育課	
159	おはなし学習会	社会教育課（図書館）	
160	絵本のべんきょう会	社会教育課（図書館）	
161	合同企業説明会 i n 青梅	商工観光課・青梅商工会議所	
4 学習情報提供と学習相談の充実			46
(1) 学習情報提供の充実			
162	「広報おうめ」への行政情報等掲載	秘書広報課	46
163・164	市ホームページへの行政情報等掲載	秘書広報課・情報システム課	
165	土砂災害ハザードマップの作成	防災課	
166	男女平等情報紙	市民活動推進課	
167	市民センターだよりの発行	市民センター	
168	青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	市民税課	
169	生涯学習だよりの発行	社会教育課	
170	社会教育事業の学校への周知	社会教育課	
171	図書館報の発行	社会教育課（図書館）	
172	ブックリストの配布	社会教育課（図書館）	
173	分館図書館だよりの発行	社会教育課（図書館）	
(2) 学習相談の充実			
174	生涯学習相談	社会教育課	47
5 生涯学習推進体制の確立			48
(1) 推進体制づくり			
175	職員研修受講支援	職員課	48
176	生涯学習推進本部	社会教育課	
177	生涯学習推進市民会議	社会教育課	
(2) 基盤づくり			
178	市民企画講座の募集	社会教育課	48
179	アンケートの実施	社会教育課	
180	学習支援体制の構築	社会教育課	

第2章

計画の進捗状況調査報告書

計画の進捗状況調査報告書

調査内容 事業内容と進捗状況

1 令和3年度取組状況

2 担当課評価

評価記号	評 価	評 価 基 準
◎	順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的で優れた取組を行った ・ 大きな成果を上げた ・ 課題や問題点は一つもない
○	おおむね順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な取組を行った ・ 一定の成果を上げた ・ 大きな課題や問題点はない
△	一部困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組を行った ・ 多少の成果を上げた ・ 課題や問題点がある
×	困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組を行わなかった ・ 取組を行ったが成果は上がらなかった ・ 大きな課題が残った
—	事業終了 隔年実施 中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

事業計画	事業数	◎	○	△	×	－
1 生涯学習の基礎づくり	37	0	32	0	0	5
(1)乳幼児教育・家庭教育の充実	10	0	9	0	0	1
(2)小・中学校教育の充実	13	0	11	0	0	2
(3)家庭・学校・地域の連携	14	0	12	0	0	2
2 生涯学習の場と機会の拡充	92	2	58	7	2	23
(1)施設の整備と有効活用	2	0	2	0	0	0
(2)豊かに生きるための学習機会の充実	31	1	15	3	1	11
(3)ともに生きるための学習機会の充実	20	0	15	3	0	2
(4)健やかに生きるための学習機会の充実	16	1	12	0	0	3
(5)暮らしやすい環境のための学習機会の充実	23	0	14	1	1	7
3 自主活動の支援	32	0	17	2	0	13
(1)地域コミュニティ活動への支援	16	0	5	1	0	10
(2)地域人材の育成と活用	16	0	12	1	0	3
4 学習情報提供と学習相談の充実	13	0	12	0	0	1
(1)学習情報提供の充実	12	0	11	0	0	1
(2)学習相談の整備	1	0	1	0	0	0
5 生涯学習推進体制の確立	6	0	6	0	0	0
(1)推進体制づくり	3	0	3	0	0	0
(2)基盤づくり	3	0	3	0	0	0
合 計	180	2	125	9	2	42
割 合 (%)	100	1.1	69.4	5.0	1.1	23.3

基本的施策

1生涯学習の基礎づくり

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	健康課	1 プレママクラス(母親・両親)学級	初産の妊婦とその夫を対象に安心して出産・子育ての準備ができるように学び、親となる心構えを伝え、妊娠中の不安を解消します。	プレママクラス 年7コース 延べ参加者数 137人 両親学級(平日) 4回 65人 両親学級(土曜日) 5回 88人 次年度目標:両親学級では、妊娠・出産、育児への理解を深め、父親になるための自覚を促し、夫婦で協力して取り組んでいくために必要な知識を提供し、育児力の向上と育児不安の解消を図る。また、夫婦で妊娠中の悩みや不安を共有しお互いがサポートできるようになることを目的とする。	○	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各回人数制限を行い、感染予防に努めた。 ・沐浴の動画を作成し、妊娠届出時や母親学級に参加希望されなかった方に案内した。 ・赤ちゃんのいる生活をイメージしてもらい、参加者による意見交換など有意義な時間を持てた。 ・疾患等のある妊婦に対し、個別対応を実施した。
	健康課	2 乳幼児健康相談	健康・栄養・歯科および育児に不安がある乳幼児に対し、小児科医師等が専門的な立場から適切な指導助言を行い、保護者の育児を支援します。	乳幼児健康相談 年12回 相談件数 147件 経過観察健康診査 年12回 相談件数 167件 次年度の目標:母親の育児に対する不安に寄り添い、助言指導を行う。また、心配な妊産婦に対しては、継続的な支援を行う。	○	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防に努めた。昨年度に比べ、相談件数が乳幼児健康相談で2.2倍、経過観察健康診査で1.6倍増加した。 ・外出自粛期間は、電話相談などの対応が多かったが、感染者数減少とともに、相談件数も増え、乳幼児の発育発達や母親の育児不安等に寄り添うことができた。
	子ども家庭支援課	3 子育てひろば事業	親子の遊びの場と交流の場を提供し、子育てに関すること等日常的で身近な問題について、保護者・子どもから相談を受け、話し相手になります。また、啓発事業を実施します。	・子育て支援センター、東青橋市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」、文化交流センター内「にこにこ」、下長洲自治会館「とことこ」の他、13保育所で実施した。 ・身近な地域に子育て中の親子が参加できるふれあいの場を提供した。 ・育児講座を開催。 ・親子参加行事を開催。 ・相談業務を行った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時利用中止や利用人数の制限などの感染防止対策を講じて実施した。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時利用中止や利用人数の制限などの感染防止対策を講じての育児講座などを実施した。 子育て中の保護者へ情報の提供を行うとともに、相談業務で子育てに関する相談を受け、子育て中の保護者の不安を解消することができたと考えている。 ※一時利用中止期間は、電話による相談を実施した。
	子ども家庭支援課	4 子育て支援事業	市民センター等において、子育てと子どもの健やかな成長を支援する場を提供するとともに、講座等を行います。	・市内の市民センター、子育て支援センターで事業を実施した。 ・手遊び型の事業では和室や会議室などで、絵本や積み木などを使った遊びを行った。 ・体育型では体育館でボールや縄跳びなどを使った遊びを行った。 実施回数 219回 延べ参加人数 1,626人 ・同年齢の乳幼児とその保護者へ、子育て支援講座「親子スキップ教室」を実施した。 また、体験型イベント「あつまれ!0・1・2・3ちびっこ☆ランド」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時利用中止や利用人数の制限などの感染防止対策を講じて実施した。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時利用中止や利用人数の制限などの感染防止対策を講じて、市民センターや子育て支援センターで子育ての場を提供することができた。 また、会場に講師を配置し、はじめての利用者にも利用しやすい雰囲気を作ることができた。 「親子スキップ教室」等では、保護者に対し、乳幼児の知性・感性を育て、人格形成を図る技術の会得の機会を提供することができた。
	社会教育課	5 家庭教育学級	乳幼児から高校生を持つ親を対象に、家庭教育に関する様々なテーマで開催します。	家庭教育講演会 ・第1回 子育て応援☆お家でリフレッシュ♪ 大人も子どもも楽しく身体を動かそう! 実施日 7月18日 参加人数 9組 ・第2回 コロナ禍における子育て・子どもの発達への影響について 実施日 11月27日 参加人数 21人 ・第3回 叱らなくても子どもは伸びる～目から鱗の子育てと家庭教育～ 開催予定日 3月19日 参加人数 39人 今後は共通の目的を持った仲間と出会う会場で集まる形式と気軽に参加できるオンラインを活用した形式を両方実施し、それぞれの特性を活かした講演会を開催したい。	○	その時期に話題になっているテーマを選び、3回の講演会を計画し、参加者の評価も良かった。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、3回の講演会すべてオンラインで行った。
	社会教育課(図書館)	6 おはなし会	絵本の読み聞かせやおはなしの語りなどをを行います。	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、4月2日から3月27日まで延べ135回、中央図書館・市民センター・小学校でおはなし会を実施した。 延べ参加人数981人	○	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施し参加者を得ることができた。今後も各事業の開催回数や内容の充実を図ることが課題である。
	社会教育課(図書館)	7 子ども読書活動推進事業講演会	子どもの読書活動を推進するための講演会などを実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講演会の代わりに、絵本原画展を開催した。 子ども読書活動推進事業絵本原画展「大自然のいのちと手島圭三郎の世界」8月6日～8月15日開催 延べ参加人数716人	○	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施し、716人の参加者を得ることができた。
	健康課	8	乳幼児健診時において、希望する保護者に対し、絵本の読み聞かせ等の相談とブックスタート・リーフレットの配布を実施します。	対象件数 607件 絵本配布数 586冊 次年度の目標:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児健診時の事業は中止したが、生後4カ月までの赤ちゃんを全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」で、絵本とブックスタート・リーフレットを配布した。引き続き絵本を介して保護者と乳児が触れ合うきっかけを作っていく。	○	絵本により、乳児とその保護者が絵本を介してゆっくり向き合い、心触れ合う一時を持つきっかけづくりができた。
	子ども家庭支援課	9 ブックスタート事業		おおむね生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ機会を提供する「こんにちは赤ちゃん」事業で、ブックスタート事業による絵本を配布した。 配布数 586冊	○	乳児のいる家庭に絵本を配布し、乳児とその保護者が絵本を介してゆっくり向き合い、心触れ合う一時を持つきっかけづくりができた。
	社会教育課(図書館)	10		健康課との共催で、乳幼児健診時において、絵本の紹介とブックスタートリーフレット「あかちゃんといっしょに」の配布と、中央図書館で行う乳幼児向けおはなし会の案内を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ブックスタート事業は中止になった。今後、図書館で開催予定の事業についての開催するための判断基準や、どのような対応が乳幼児に対して必要になるかについて、検討した。

施策方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 小・中学校教育の充実	学務課	11 特別支援学級の運営	児童・生徒の障害に応じたきめ細かな教育を実施していくため、教育環境の整備を図ります。特別支援学級設置校に介護員を配置します。	・教育環境の整備 パーテーションや教材などの備品を購入し教育環境の整備を図った。引き続き必要な備品等を購入していく。 ・介護員の配置 特別支援学級(固定学級)において、児童・生徒の学校生活および学習活動の補助ならびに教員の教育活動を支援するために、児童・生徒数に合わせ配置した(小学校33人、中学校19人)。次年度も児童・生徒数に合わせ適正に配置していく。	○	・教育環境の整備 備品等の購入により教育環境の整備を進めている。 ・介護員の配置 特別支援学級(固定学級)に在籍する児童・生徒数に合わせ介護員を配置し、児童・生徒への指導の充実を図っている。
	指導室	12 教育相談機関の充実	1 教育相談所 幼児・児童・生徒や保護者から、学校生活や家庭における問題、悩みについて相談に応じ、援助・助言を行います。 2 青少年相談室 青少年や保護者から、生活指導や性格、行動等の問題、悩みの相談に応じ、青少年等の非行防止と健全育成を図ります。 3 スクールソーシャルワーカーおよび心理相談員の派遣などにより、青梅市公立学校相談室と教育相談所等の連携を図ります。	・スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラー 登校支援室のスクールソーシャルワーカーおよび、東京都が市内全小・中学校に配置しているスクールカウンセラーが各学校等と連携し、児童・生徒、保護者の個々の悩みや問題の相談に応じ、支援した。	○	学校からの要請により、スクールソーシャルワーカーが不登校傾向にある児童・生徒の家庭訪問を実施し、登校支援を行った。また、学校とスクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカー等が連携を密にすることにより、児童・生徒、保護者に寄り添った支援が図れた。
	学務課	13		・教育相談所 いじめ問題対策、要保護児童対策等の会議に教育相談所の職員が委員として出席し、連携を図った。 ・相談所における来所相談件数は年間579件で電話相談は40件。面談は、保護者2,971回、子供1,412回で合計4,383回行った。相談件数、面談回数とも増加しているが、引き続き適切に対応していく。 ・青少年相談 相談内容を確認し、東京都教育相談センター等、関係諸機関に繋いだ。	○	・各種会議に教育相談所の職員が委員として出席し、各関係機関との連携が図れている。 ・青少年の相談については、適切な機関へ繋いでいる。
	指導室	14 適応指導教室の充実	1 ふれあい学級 不登校児童・生徒に対し、生活習慣の確立および学習等の援助を行い、在籍校への復帰を支援します。 2 外国人児童・生徒学級 外国人児童・生徒および帰国児童・生徒に対し、日本語の指導を行い、安心して学校生活を送れるよう援助します。	1 適応指導教室(ふれあい学級) 不安や悩みについての教育相談や習熟の程度に応じた学習指導を行うとともに、施設見学(校外学習)を1回実施した。 2 外国人児童・生徒学級 在籍児童・生徒数4人に対し、週2回の指導を実施した。	○	保護者の不安な気持ちに寄り添い、事前の面談の充実を図った。また、児童・生徒の実態に応じて支援ができるよう、学校との情報共有を密にした。 日本語の指導をとし、学校生活をサポートした。
	指導室	15 情報教育の推進	児童・生徒の情報活用能力を育成し、確かな学力の向上を図るために、教科指導におけるICTの活用を推進します。	ICT支援員を配置し、ICTを活用した授業の推進を図った。 国のGIGAスクール構想を踏まえ、各小中学校に通常学級数分の電子黒板の整備等を行った。 市内小・中学校4校を研究指定校とし、ICTを活用した取組を全小中学校で共有した。	○	ICT環境の充実を図り、ICTを活用した授業改善を行った。
	指導室	16 芸術・技術教育の支援	「小学校造形作品展」、「中学校美術作品展」、「中学校技術・家庭科作品展」を開催し、児童・生徒の豊かな心身の陶冶や芸術・技術能力の向上を図るとともに、広く市民に教科への理解を得ます。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた小学校造形作品展を中止とした。 中学校美術作品展・中学校技術・家庭科作品展については感染症対策をしながら実施した。	○	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部予定していた事業を中止とした。 中学校美術作品展・中学校技術・家庭科作品展を通して、生徒の豊かな心身の陶冶や技術能力の向上を図る授業を計画的に行った。
	指導室	17 スポーツ教育の振興	「中学校陸上競技大会」「中学校球技大会」「中学校駅伝大会」の開催を通して、精神力や体力を磨けるよう支援します。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた次の事業を中止とした。 ・中学校陸上大会 ・中学校総合球技大会 ・中学校駅伝大会	-	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた事業を中止とした。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 小・中学校教育の充実	指導室	18 教員研修	教員の資質や能力の向上を図るため、職層や教職経験に応じた研修、専門的研修を実施します。	校長研修 1回 副校長研修 1回 教務主任会 6回 生活指導主任会 11回 若手教員育成研修1年次 10回 若手教員育成研修1年次(宿泊研修の内容を変更し宿泊を伴わない研修) 1回 若手教員育成研修2年次 3回 若手教員育成研修3年次 3回 中学校進路指導主任会 2回 新任主幹教諭研修 1回 人権教育研修 4回 学校教育相談研修 1回 情報セキュリティ研修(未受講者対象研修) 3回 情報セキュリティ研修(管理職等対象研修) 2回 特別支援教育理解研修 1回 教育経営研修 1回 情報教育推進委員会 2回 水泳指導研修 1回 普通救命講習 1回 教育課題研修 2回 中堅教諭等資質向上研修 I 8回 特別支援教育コーディネーター研修 2回 外国語教育担当者連絡会 3回 柔道(武道)研修 1回	○	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止や書面開催・オンライン開催等で行った。 職層や教職経験に応じた研修等を実施することにより、教員の資質向上が図れた。
	指導室	19 教育研究支援	教育課題の解決、教科指導法の改善等の研究を支援し、より良い学校教育を目指します。 ・研究指定校、教育研究会、校内研修に対する支援	・研究指定校等への支援 小・中学校合わせて5校の研究を支援した。 ・教育研究会への支援 ・校内研修に対する支援 担当指導主事を中心に年間160回程度の指導訪問を実施した。	○	各校の研究を支援し、教員の資質向上が図れた。また研究指定校の発表および成果を全小・中学校で共有できた。 指導主事の指導訪問を160回程度実施することができた。
	指導室	20 教科指導等の充実	1 新学力向上5カ年計画にもとづき、「やる気、根気、考える」をキーワードに、指導の充実を図ります。 2 「青梅市いじめ防止マニュアル」およびいじめ問題対策委員会調査部会からの提言にもとづき、いじめの根絶に向け、人権教育・道徳教育を充実します。 3 外国人英語指導助手(AET)を活用し、小・中学校の英語教育、国際理解教育を推進します。 4 地域社会・地域環境の理解を深め、社会の一員としての自覚を育てます。 5 児童・生徒の学力向上を図るため、市民センター等を拠点として、民間委託の指導者による土曜日補習教室を実施します。	学力向上推進委員会と情報教育推進委員会を連携させ、年6回、ICTを活用した授業改善について研修を深めた。 人権教育推進委員会を年5回・道徳教育推進委員会を年3回実施し、人権教育・道徳教育の推進に努めた。人権教育推進校の発表について、市内全小中学校で共有した。 年3回外国語教育推進委員会を開催し、小中間の連携や授業改善について協議を進めた。 青梅学推進委員会を開始し、地域の人材や地域の環境について理解を深めるための取組について協議・研修を行った。 土曜日補習教室「サタデークラス」は令和3年度より廃止した。代わりに、平成30年度より各中学校等で開催していた中学3年生向け高校受験対策事業「スタディ・アシスト」の実施場所を、令和3年度より全ての回でネットつたまぐーセンター等へ変更した。	○	ICTを活用した授業改善について研修を深め、学力向上を図ることができた。 人権教育推進教員が中心となり、各校において人権教育についての教育を充実させた。 小中間の連携を進め、またAETとの綿密な打ち合わせを行い、国際理解教育の推進を図った。 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、地域社会・地域環境への理解を深めた。 スタディ・アシスト事業を民間業者へ委託して実施し、大幅な学力の向上が見受けられたとともに、多数の参加者が志望校へ合格した。
	指導室	21 進路指導の充実	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自分の意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を育てます。	・進路指導主任会を年2回実施し、各学校におけるキャリア教育の円滑な推進について協議・研修した。	○	進路指導およびキャリア教育を推進する中で、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てることができた。
	指導室	22 生徒指導の充実	豊かな人間性と社会性を育成するために、児童・生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、公共心をはぐくみます。	・生活指導主任会(小・中学校)を年間5回実施し、情報交換や連携を深めた。 ・中学校生活指導主任連絡協議会を年間6回実施し、関係機関との情報交換や連携について協議した。	○	生活指導主任会や中学校生活指導主任連絡協議会での情報交換や他機関との連携を図りながら、豊かな人間性と社会性を育む取組を推進することができた。
	青梅市立第二中学校	23 学校防災訓練	地域の消防団や消防署と連携し、実践的な防災訓練を行い防災の意識を高めます。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。	-	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。

施策方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由	
(3) 家庭・学校・地域の連携	市民センター	24	PTAの活動への支援	会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどをしています。 小・中PTAが主催する講演会や研修視察等に対する援助を行い、子どもたちの健全な成長を目指して、親と教師が協力して家庭・学校・地域の教育力の向上を図ります。	PTAが主催する講演会や研修視察等に対し、会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどの支援は継続して実施しているが、今般の新型コロナウイルス感染症の流行により、会議等が中止となり、貸出利用等はなかった。	○	新型コロナウイルス感染症の流行により、会議等が中止となり、貸出利用等はなかったが、PTAへの会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどの支援体制は継続して実施したため。
	社会教育課	25		・小学校・中学校のPTAへ感謝状の贈呈や総会会場確保などを行い活動を支援した。 引き続き支援可能な範囲での支援を行っていく。	○	PTA活動の支援を継続的に実施したため。	
	市民センター	26	青少年が地域で健やかに成長できるよう、学校等とも連携し余暇指導、青少年指導者への協力および青少年団体の指導育成を行います。	・青少年委員の協力のもと、青少年の指導育成事業として、ジュニアリーダー講習会等の事業については、各種計画はしたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。(各市民センター) ※中止した事業 ・(青梅C)青梅っ子わいわいフェスタ、ミニ青梅マラソン大会、ポッチャ体験会 ・(大門C)ふるさと祭りで青少年委員のブース設置 ・(小曾木C・成木C)共催ジュニアキャンプ教室(1泊2日) ・(成木C)少年少女マラソン大会 ・(東青梅C・新町C)各種青少年の関係する事業 ・(梅郷C)各種青少年の関係する事業 次年度目標 ・(長淵C)センター文化祭で青少年委員のブース設置 ・(今井C)動物ふれあいまつり、青少対レクリエーション大会	○	各種事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したため。	
	社会教育課	27		・定例会12回(毎月第二火曜日) ・委員研修 実施日 3月5日 会場 東青梅市民センター ・青少年リーダー育成研修会への協力 ・自主事業の実施 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、円滑に青少年委員活動を実施したい。	○	各地域において学校行事等に協力し青少年活動の指導を行った。 また、定例会を開催し、各地域での活動報告や自主事業の企画等を話し合った。 自主事業を実施した。 青少年委員の周知を図るため広報紙「みらい」を発行した。	
	市民活動推進課	28	協働事業の支援	行政と市民活動団体との協働事業を、青梅ボランティア・市民活動センターと連携して支援・推進します。	・青梅ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動団体に関する総合的な相談窓口を設置し、情報の収集および発信、ニュースのコーディネート等、行政と市民活動団体との協働を推進している。 ・月1回の情報交換会を通して、協働事業や市民活動団体の活動状況等について情報共有した。 ・市民提案協働事業募集の周知等を青梅ボランティア・市民活動センターからも行うなどの連携を図った。 ・青梅ボランティア・市民活動センター職員が青梅市協働事業市民推進委員会委員として、協働事業の評価等について協議を行った。 ・青梅ボランティア・市民活動センターと協働で開催している市民活動団体に対する研修「協働の進め方」実施した。 ・次年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら協働事業の支援を継続する。	○	青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、様々な事業を通じて、協働事業の推進を図ることができたため。
子ども家庭支援課	29	青少年問題協議会	青少年の健全育成を目指して青少年健全育成基本方針の策定や様々な支援協力を行います。 「健全育成チラシ」や「休みのしおり」の作成などを行います。	・「青少年健全育成チラシ」を作成し、小中学校、各市民センター、関係機関等に配付するとともに、全ての自治会に回覧を依頼した。また、「休みのしおり」を3回発行し小中学校の児童・生徒に配布した。 ・カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア等の経営者に対し青少年の非行防止と健全育成への協力について依頼し、青少年の健全育成環境整備対策に努めた。 ・協議会を以下の内容により2回開催した(いずれも書面開催)。 【実施日:7月30日】 令和2年度青少年健全育成活動状況について 令和4~6年度青少年健全育成基本方針(案)について 令和3年度青少年健全育成活動計画について 令和3年度青少年健全育成環境整備対策について 【実施日:2月10日】 令和3年度青少年健全育成活動状況について 令和4~6年度青少年健全育成基本方針(案)について 青少年健全育成チラシについて ・策定した青少年健全育成基本方針(令和4~6年度版)を周知する。	○	新型コロナウイルス感染症対策のため全ての協議会は書面開催となり、協議会での各委員(団体)からの生の声を伺う場が少なくなかったが、例年同様に青少年指導、育成等に必要関係行政機関相互の連絡調整を図ることができた。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由	
(3) 家庭・学校・地域の連携	市民センター	30	青少年の健全育成を目指して実施する様々な青少年対策事業に支援協力を行います。 「健全育成チラシ」の配付、「健全育成標語看板」の作製などを行います。	・青少年対策事業の事務的支援および会議室の提供、備品の貸出等について支援した。(各市民センター) ・青少年健全育成チラシの作成および地区内自治会、子ども会育成会への配布について協力した。(各市民センター) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業は中止したものがある。 ・(小曾木C)黒沢川清掃活動をテーマにジュニアリーダー講習会を実施。青少年の社会参加を積極的に図った。 ・(河辺C)健全育成標語看板清掃活動は実施した。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかった事業があるものの、青少年対策事業の事務的支援および会議室の提供、備品の貸出等の支援体制は整えていた。また、チラシ配布等も実施したため。	
	子ども家庭支援課	31	青少年対策地区委員会事業への支援	・各地区における青少年の健全育成事業の推進を図るため、青少年対策地区委員会に対し、補助金を交付した。 補助金交付決定額計:1,800千円 補助金交付確定額計:1,530千円 ・青少年健全育成チラシを配布した。 ・青梅市親子ふれあい事業は、種目を綱引きからポッチャに変更し準備していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・令和4年度の親子ふれあい事業については、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を踏まえながら実施に向け準備する。	—	・各青少年対策地区委員会の青少年健全育成事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため例年通りの実施が困難である中、各地区工夫を凝らし実施に向け努力したが、ほとんどの事業が中止となってしまった。 ・親子ふれあい事業については、新型コロナウイルス感染症対策が比較的取りやすい種目であるが、感染状況から中止となってしまった。	
	社会教育課	32	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	子ども会・保護者会等の学習活動に対する支援を行い、青少年の健全育成を図ります。	用具・備品の貸出が行えるよう準備した。 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら貸出を行っている。	○	用具・備品の貸出が行えるよう準備したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども会・保護者会の借用希望はなかった。
	社会教育課	33	放課後子ども教室	スポーツや文化活動やさまざまな体験活動、地域住民との交流活動などを実施します。学ぶ意欲のある子どもに、学習機会を提供します。	計16校で、おうち放課後子ども教室「タやけランド」を実施した。 ・第一小(全16回) 延べ参加人数 571人 ・第二小(全24回) 延べ参加人数 373人 ・第三小(全10回) 延べ参加人数 409人 ・第四小(全30回) 延べ参加人数 1,100人 ・第五小(全78回) 延べ参加人数 3,270人 ・第六小(全14回) 延べ参加人数 169人 ・第七小(全47回) 延べ参加人数 927人 ・成木小(全17回) 延べ参加人数 173人 ・河辺小(全13回) 延べ参加人数 248人 ・新町小(全10回) 延べ参加人数 319人 ・霞台小(全17回) 延べ参加人数 391人 ・友田小(全21回) 延べ参加人数 369人 ・今井小(全19回) 延べ参加人数 855人 ・若草小(全10回) 延べ参加人数 165人 ・藤橋小(全20回) 延べ参加人数 673人 ・吹上小(全24回) 延べ参加人数 408人 主な活動内容:バドミントン、卓球、サッカー、工作、自主学習ほか 新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、計16校での実施をしたい。	○	新型コロナウイルス感染症感染対策に取り組みながら、スポーツ、文化活動、学習機会の提供など多様な活動を実施することができた。
	社会教育課(図書館)	34	職場体験事業	職場体験学習として市内の中学生、高校生を受け入れ、図書館業務全般を体験します。	11月10日から11月12日にわたり、高校生を受け入れ、図書館業務全般について、体験学習を実施した。 高等部・高等学校 1校 2人 中学生に対しては、職場体験の受け入れはできなかったが、図書館の仕事の説明する職場案内を希望校において実施した。 中学校 1校 65人	○	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、学校からの要望により、高等部・高等学校1校、2人の生徒を受け入れた。 中学生については、図書館スタッフが学校で65人の生徒に職場案内を行った。
	社会教育課(図書館)	35	図書館と学校図書館との連携事業	市内小・中学校の学校図書館に学校図書館司書を配置し、子どもたちの読書活動推進および学習活動の支援を行います。 また、中央図書館1日図書館長や講演会などの事業を実施し、子どもの読書活動を促進します。	東小中学校を除く全小中学校に、学校司書を学校図書館に配置し、4月26日から3月23日まで、週1回、小学校は5時間、中学校は4時間、延べ990回の学校支援を行った。 学校連携推進重点校事業については、対象校の藤橋小学校に対し、一日図書館長の実施、講演会は、新型コロナウイルス感染症対策として、講師は校外からの中継として実施した。 1日図書館長 10月30日 4人 前沢明枝氏講演会 2月15日 60人	○	各校の学校図書館整備や展示などの読書意欲の喚起を行い、延べ990回の学校図書館支援を図った。 学校連携推進重点校事業では、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつではあったが、1日図書館長および講演会を実施できた。
	指導室	36	地域人材の活用	地域の優れた人材を掘り起こし、地域と学校が連携協力し、子どもたちの健全育成に活用します。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域人材を活用した事業はオンライン等で実施した。	○	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域人材を活用した事業は中止又は形式を変更して実施した。
	社会教育課	37			・青梅探訪 うんちく講座+散歩(延べ27人) 今後、オンラインと対面での開催の併用、人材の掘り起こしを継続していく。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった講座が多かった。講座講師のほか地域の人材を放課後子ども教室等で活用することができた。

2 生涯学習の場と機会の拡充

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(1) 施設の整備と有効活用	スポーツ推進課	38	学校施設開放 生涯スポーツの普及・発展、市民の健康と体力の増進を図るため、小・中学校の体育施設(校庭・体育館)を市民スポーツ団体の利用に供します。	登録団体 192団体 利用回数 3,699回 利用人数 97,488人	○	市内の団体への貸出を行うことで、レクリエーションの場としての施設の活用を図った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、消毒作業の指示、緊急事態宣言中の開放中止等の対策を講じて事業を行った。
	社会教育課	39	生涯学習推進のため、小・中学校の音楽室を団体やサークルの利用に供します。	登録団体:今井小学校1団体、第二中学校1団体 利用回数:今井小学校0回、第二中学校0回 利用人数:今井小学校0人、第二中学校0人	○	利用団体登録の広報を、広報おうめへの掲載だけでなく、HPへの掲載も行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり利用実績がなかった。
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	清掃リサイクル課	40	多摩川1万人の清掃大会 8月第1日曜日に多摩川の一斉清掃を行います。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	-	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。
	清掃リサイクル課	41	河川清掃活動援助 多摩川以外の河川で行われる清掃活動への消耗品の援助を行います。	成木川、黒沢川、柿沢川等の河川における自治会等の清掃活動に対し、使用する軍手、ごみ袋を提供した。	○	河川における自治会等の清掃活動への支援を行うことにより美化活動の啓発を図った。
	高齢者支援課	42	福祉センター高齢者教養講座の開催 高齢者が趣味を広げ、教養を深められるよう各種講座を開催します。活動の成果を発表する場として、高齢者教養講座合同文化祭を開催します。(対象:60歳以上の方)	高齢者教養講座を5講座実施した。 詩吟 年17回 14人 毛筆 年19回 18人 ペン習字 年22回 9人 茶道 年17回 14人 華道 年15回 8人 ※新型コロナウイルス感染症予防の影響により、高齢者教養講座合同文化祭については開催を見合わせた。 次年度については、東青梅1丁目諸事業用地の進展を考慮しつつ、開催を継続する。	△	生きがいのある生活や高齢者の外出支援として効果的であり、地域高齢者のふれあい・親睦の場となった。 一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの開催はできなかった。
	高齢者支援課	43	地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催 高齢者の生きがい、健康増進、教養を高めることを目的に、沢井・小曾木保健福祉センターでは、各種教室を開催します。(対象:60歳以上の方)	地域保健福祉センター閉鎖に伴い、令和2年度より会場を福祉センター等に変更し高齢者教養講座を2講座実施した。 ・華道 年11回 57人 ・合唱 年12回 373人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、茶道教室は開催を見合わせた。(3月をもって終了) 次年度については、東青梅1丁目諸事業用地の進展を考慮しつつ、開催を継続する。	△	生きがいのある生活や高齢者の外出支援として効果的であり、地域高齢者のふれあい・親睦の場となった。 一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの開催はできなかった。
	高齢者支援課	44	敬老会 75歳以上の方を総合体育館に招待し、式典・演芸を行い、長寿をお祝します。(対象:75歳以上の方)	令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。 次年度については、新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催を予定する。	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	商工観光課	45	観梅市民まつり 平成28年度に梅の再植樹が開始、3月には吉野梅郷梅まつりが復活しました。 中旬に行われる「観梅市民まつり」では、パレードや地元郷土芸能の披露などが行われ、多くの市民が出演者もしくは観客として参加し、おまつりを盛り上げています。	令和3年度の「観梅市民まつり」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	-	新型コロナウイルス感染症対策のため、「観梅市民まつり」を開催することができなかった。
	商工観光課	46	後援等協力事業 青梅市の産業や観光を知り、自然に親しむ機会や参加者同士の交流が図れる機会として、産業観光関連のイベントに協力します。 ・産業観光まつり、カンタンを聞く会	令和3年度の「第54回青梅産業観光まつり」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から分散開催で実施した。 「カンタンをきく会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	-	新型コロナウイルス感染対策のため、「第54回青梅産業観光まつり」は分散開催となり、また、「カンタンをきく会」は開催することができなかった。
商工観光課	47	昭和レトロ商品博物館 商店街空き店舗活用推進事業として、平成11年に住江町に開館した博物館。昭和30～40年頃のお菓子や薬などの商品パッケージを中心に、昭和を彩った懐かしい商品文化をお楽しみください。2階には、小泉八雲作の「雪女」と関わりのある資料を展示。	・昭和レトロ商品博物館 入場者数 7,354人	△	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、来館者数の大幅回復とはならなかった。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2)豊かに生きるための学習機会の充実	商工観光課	48 青梅赤塚不二夫会館	商店街振興事業として、住江町商店街振興組合が、青梅駅周辺商店街の賑わいを創出するため、平成15年10月に閉館。 明治時代後期の蔵に昭和を代表する漫画家「赤塚不二夫氏」の原画や貴重な写真などを展示。	令和2年3月末をもって閉館。	-	
	農林水産課	49 シイタケ栽培講習会	農業への理解を深め、収穫の喜びを体験していただくための講習会を開催します。	開催日:2月19日 参加者数:48人 内容:ほだ木の配付と育成管理指導 次年度目標 定員を超える申し込みがあり、大変好評なイベントであるため、引き続き感染症対策を徹底しながら実施していきたい。	○	感染症対策のため、ほだ木の穴あけや種ゴマの打ち込みは行わず、密にならないようほだ木の配付と育成管理指導だけ実施した。
	農林水産課	50 青梅市農業祭	市内の農畜産物の展示や直売などにより、農業への理解と関心を深めてもらうとともに、参加者同士のふれあいの場を提供します。	感染症の影響により産業観光まつりが中止となったため、3年度は市役所庁舎前で直売会を実施した。併せて、新規就農者が組織する任意団体であるネオファーマーズの販売会も初めて実施した。 開催日:11月12日、13日、17日(新規就農者) 次年度目標:平日は集客があったものの、土曜日の集客がなく、集客が見込める会場を検討し、実施予定である。	○	大規模なイベントの開催が難しい状況のなかで、地元農産物を購入する機会を提供することができた。
	農林水産課	51 炭焼き体験教室	豊かな緑、豊かな水の原点は森にあることに着目し、炭焼きの実践や木々の観察、木工等総合的な自然体験学習を行います。	森林ボランティア育成講座の講座内容から、令和3年度実施せず。	-	実施していないため、評価せず。
	社会教育課	52 成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。 1月2日(成人の日) 総合体育館ホール	実施日 1月10日 会場 総合体育館 出席者数 991人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入口での検温・消毒を実施しながら、2部制で行った。タイムカプセル作品、中学校の先生からのビデオレターを上映した。	○	新型コロナウイルス対策を行いながら、2部制で実施ができた。 ここ数年の中では高い出席率であった。
	社会教育課	53 掌理団体定期演奏会等	・青梅児童合唱団定期演奏会 ・青梅市青少年吹奏楽団定期演奏会 ・青梅市民合唱団定期演奏会 ・ファミリーコンサート ・ミニコンサート	・青梅児童合唱団 定期演奏会 9月20日 会場 福生市民会館 観客数 95人 ・青梅市民合唱団 定期演奏会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・青梅市青少年吹奏楽団 定期演奏会 12月5日 会場 羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホール 観客数 132人 ・ファミリーコンサート 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・ミニコンサート 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施できるようにする。ただし、感染拡大の状況に応じて適切に中止の判断をする。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民合唱団は定期演奏会を開催することが出来なかったが、動画等の撮影等による成果発表の場を設けるなど各団体自主的に対外的活動を行っており、日頃の練習の成果を市民に発表することができた。
	社会教育課	54 市民大学	人文・社会科学・自然科学・産業技術・芸術文化・市民生活・国際関係等の中から現代的課題に対応する学習機会を提供していきます。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催することが困難であった。
	社会教育課	55 農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	野菜の栽培や収穫、調理までの作業を体験し、農業への関心を持ち理解を深めることを目的に、半年間の体験教室を行います。ふれあいまつりに参加し、野菜の販売体験を行います。 ・東京都農林水産振興財団・青梅食育クラブ共催事業	農業・食育体験教室を実施し、農業や食育について学んだ。全9回の講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で4月～6月、9月が中止となり、全5回の開催となった。また講座の中でアイスクリーム作りや、野菜の販売体験を行う予定であったが、中止となった。 農業・食育体験教室 延べ参加人数 182人 新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら実施できることを模索する。	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部実施できない内容もあったが、工夫をしながら実施した。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	社会教育課	56 豊かに生きるための教室・講座等の実施	趣味を広げ、知識・教養を深め、参加者同士の交流を広げるため、人生を豊かにする教室・講座等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊學而の名曲へのお誘い(244人) ・飛び出せ！夏のサイエンスキッズ2021 2講座(36人) ・青梅探訪 うんちく講座+散歩(27人) ・国際理解講座公開講座「最新恐竜学～めざせ！きょうりゅうはかせ～真鍋真先生講演会」(119人) ・【動画配信】リモート子ども陶芸教室 from 明星大学「粘土にスタンプ！凸凹模様のお皿をつくろう」(6人) ・キッズ☆体験教室5講座(うち1講座は中止)(43人) ・科学っておもしろい！善ちゃんのサイエンスショー(124人) ・子ども芸能体験ひろば(241人) ・体験型フォルクローレコンサート(56人) 市民センター共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ネッツたまぐーセンターあそびば 春休みだよ！たまぐーであそぼうよ！(51人) 市民映画会 <ul style="list-style-type: none"> ・二宮金次郎(84人) ・インサイド・ヘッド(36人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 17講座(うち中止1講座) 1,067人 今後も様々な講座をバランス良く企画する。	○	幼児教育から成人教育まで幅広く行い、その形態も従来の講演会形式、体験型だけでなく、リモート開催を行った。 また、新型コロナウイルスの流行で開催できなかった、文化交流センターの命名権料を財源とした市民映画会を初めて開催することができた。
	社会教育課	57 16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	映写機の操作方法、映写方法、映写会場の作り方などを学ぶ講習会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオプロジェクター操作講習会 2月4日実施 計10人修了 ・16ミリ発声映写機操作講習会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止。 	○	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ビデオプロジェクター操作講習会を実施することができた。
	社会教育課(図書館)	58 中央図書館講座等	図書館の広報と利用者サービスの拡充を図るため、原画展や講演会などを実施します。	市民の教育と文化の向上を図るための学習機会を提供するため、次のとおり各事業を実施した。 ○展示 <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚コーナー資料展示(2階フロア) 4月1日～3月31日 12回 ・ハンディキャップコーナー資料展示(2階フロア)4月1日～3月31日 4回 ・資料展示(3階フロア) 4月1日～3月31日 52回 ・児童コーナー資料展示(3階フロア) 4月1日～3月31日 37回 ・資料展示(4階フロア) 4月1日～3月31日 9回 ・分館資料展示(9分館) 4月1日～3月31日 375回 ○青梅市図書館を使った調べる学習コンクール <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品数 小学生の部:268作品 中学生の部:9作品 ・表彰式 12月4日 ・調べる学習相談窓口 7月31日～8月14日 ○市制施行70周年記念展示 図書館資料で知る青梅 10月1日～10月12日 参加人数621人 ○利用者懇談会 3月20日 参加人数6人	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書の展示、青梅市図書館を使った調べる学習コンクール、市政施行70周年事業等を開催し、図書館や図書に親しむ機会を提供できたとともに参加者を得ることができた。
	社会教育課(図書館)	59 中央図書館での工作及び手芸教室	工作などを通じて手作りの楽しさ、創造することのおもしろさを体験する各種教室を実施します。	8月3日開催予定とし、広報で募集したが、新型コロナウイルス感染症状況を考慮し中止した。	—	最終的に事業は中止となったが、コロナ禍の中で事業の開催準備を行うことができ、今後の参考にできた。
	社会教育課(図書館)	60 中央図書館での上映会	中央図書館多目的室において、映画会を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・映画会 12月26日～3月27日 4回 参加人数 45人 ・子ども映画会 3月27日 1回 参加人数 6人 ・バリアフリー上映会 3月6日 1回 参加人数 29人 	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業開催中止とした期間もあったが、感染症拡大防止対策を行いつつ、映画会、子ども映画会を実施し、参加者を得た。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	文化課(郷土博物館)	61 展示・普及事業	<p>青梅市の歴史や自然を紹介する常設展のほか、郷土の歴史や文化財などをテーマとした企画展等を年3～4回程度開催します。</p> <p>また、企画展等に関連した講演会、解説講座を開催します。</p>	<p>○令和3年度取組状況</p> <p>1 展示事業</p> <p>①春季展示「吉川英治の書簡展」</p> <p>(1)会期:4/3～6/27</p> <p>(2)入館者数:882人</p> <p>②夏季展示「青梅市吉川英治記念館× 文豪とアルケミスト～吉川英治と市所蔵直筆資料展～」</p> <p>(1)会期:7/10～10/3</p> <p>(2)入館者数:1,845人</p> <p>③青梅市市制施行70周年記念秋季展示『「新・平家物語」の世界』</p> <p>(1)会期:10/9～12/19</p> <p>(2)入館者数:2,204人</p> <p>④青梅市市制施行70周年記念新春展示「市民所蔵の吉川英治作品展」</p> <p>(1)会期:1/4～3/27</p> <p>(2)入館者数:1,552人</p> <p>2 自主事業</p> <p>①地域連携事業「五月人形展」</p> <p>(1)会期:5/15～6/13</p> <p>(2)入館者数:351人</p> <p>②辛垣城御城印配布</p> <p>(1)会期:4/1～5/30</p> <p>(2)配布枚数:198人</p> <p>③地域連携事業「青梅夜具地展」</p> <p>(1)会期:11/2～11/28</p> <p>(2)入館者数:1,275人</p> <p>④「秋のライトアップと夜間開館」</p> <p>(1)会期:11/23～11/28</p> <p>(2)入館者数:446人</p> <p>⑤地域連携事業「ひな人形展」</p> <p>(1)会期:2/19～3/21</p> <p>(2)入館者数:1,066人</p> <p>他、各種事業を実施した。</p> <p>○次年度目標</p> <p>令和4年度は季節展示4回、各種普及事業の実施を予定している。</p>	○	<p>前年度から継続する展覧会を含め、4回の企画展等を開催しているが、4/27～5/31は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館し、また、例年、企画展の会期中に実施している展示解説、関連講座についても同様の理由で実施を見合わせた。</p> <p>青梅市市制施行70周年記念展「ゆめうめちゃんに行く時間旅行」では、緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響により、例年と比較して来館者数は減少したが、アンケートは概ね好評であった。解説文をゆめうめちゃんのセリフにし、手作りの動画コーナーを設置するなどの工夫を行った。</p> <p>企画展「青梅の金融史～あおしん創立100周年～」では、7/12～8/31の緊急事態宣言の再発令に伴う外出自粛の影響により、例年と比較して来館者数が減少したが、アンケートは概ね好評であった。「金融史」という他館で取り上げないテーマであったが、青梅信用金庫の協力を得て、青梅地域の金融機関の変遷を紹介することができた。また、青梅信用金庫の100周年記念誌に館蔵資料を提供するなどの連携事業にもなった。</p> <p>企画展「青梅宿の文人・根岸典則～文芸サロンに集う人々～」では、1/21～3/21のまん延防止等措置の適用に伴う外出自粛の影響により、例年と比較して来館者数が減少したが、アンケートは概ね好評であった。根岸典則をテーマとした展示は今まで実施したことがなかったが、出生から没後までの生涯や他の文人との交流に関する資料を展示し、人物像にスポットを当てることができた。</p> <p>一方、例年実施している「わがまち青梅講座」等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することができなかったため、評価を「○」とした。</p>
	文化課(郷土博物館)	62 文化財の調査・保護・活用	<p>埋蔵文化財の調査を実施するほか、指定文化財の保存事業として、修理補助や報償金の支給を行います。</p> <p>また、指定文化財住宅の公開イベントなど活用に取り組みます。</p>	<p>当初4件の予定が2件追加となり、6件の指定文化財保存修理事業について補助金を支出した。</p> <p>1「国宝 赤糸威鎧／重要文化財 紫裾濃鎧」美術工芸品保存修理事業</p> <p>①工期:令和3年5月28日～令和4年3月31日</p> <p>②概要:保存箱の作製、紫裾濃鎧の修理、鎧掛け台や鞆台の作製、鎧の残欠類整理・収納作業を実施した。</p> <p>2「重文 木造千手観音立像、木造二十八部衆立像」防災施設整備事業</p> <p>①工期:令和3年6月10日～10月31日</p> <p>②概要:防犯カメラを設置した。</p> <p>3「都指定無形民俗文化財 青梅のフセギのワラジ」青梅のフセギのワラジ伝承基盤整備</p> <p>①工期:令和3年4月9日～6月17日</p> <p>②概要:辻立てを作製し、設置した。</p> <p>4「市指定有形民俗文化財 山車人形 武内宿禰」衣装修理</p> <p>①工期:令和3年5月10日～令和4年3月24日</p> <p>②概要:衣装の修理を実施した。</p> <p>5「都指定有形文化財 福島家住宅」修繕等</p> <p>①工期:令和4年1月22日～3月23日</p> <p>②概要:屋根裏通路の設置、天井板の張替え、床下板や正面大戸の修繕等を実施した。</p> <p>6「市指定天然記念物 御嶽神社参道の杉並木」危険木伐採</p> <p>①工期:令和4年2月1日～3月31日</p> <p>②概要:危険木を伐採した。</p> <p>7「都指定有形文化財 旧吉野家住宅」屋根葺き替え修理</p> <p>①工期:令和3年6月18日～令和4年10月31日</p> <p>②概要:屋根葺き替え工事</p> <p>○次年度目標</p> <p>令和4年度は、6つの補助事業に加え、旧吉野家住宅屋根葺き替え工事(2か年の内、2年目)を予定している。</p>	◎	<p>補助の必要性については、所有者等と連絡を取りながら、計画どおり適切な交付ができるように取り組み、年度当初に予定していた4件の補助事業だけでなく、都指定有形文化財の被害による修繕や市指定天然記念物の危険木伐採など緊急性の高い2件の保存修理事業について、年度内に無事完了することができたため。</p> <p>また、旧吉野家住宅の屋根の葺き替え作業を当初の予定より2か月ほど早く開始し、葺き替え工事の工期を短縮して進めることができたため。</p>
	文化課(郷土博物館)	63 文化財の普及・啓発	<p>市内にある文化財等の解説を広報などに掲載します。また、文化財めぐりを実施したり、文化財解説ボランティアの育成などに取り組みます。</p>	<p>○令和3年度取組状況</p> <p>・「青梅市の文化遺産」市広報毎月15日号に掲載</p> <p>・「青梅市文化財ニュース」毎月15日発行</p> <p>・「文化財保護指導員活動報告書」毎年発行</p> <p>○次年度目標</p> <p>令和4年度は、引き続き広報おうめ、文化財ニュースおよび活動報告書を活用した普及・啓発事業を予定している。</p>	○	<p>広報記事「青梅市の文化遺産」および「青梅市文化財ニュース」では、毎月、市内の文化財について紹介することで、広く周知を図ることができた。</p> <p>一方、例年実施している「わがまち青梅講座」やボランティア育成講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することができなかったため、評価を「○」とした。</p>

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	文化課(吉川英治記念館)	64 吉川英治記念館の運営事業	吉川英治の功績を次世代に継承するとともに、市民の文化の向上および地域の活性化に寄与するため、指定管理者や地元関係団体等と連携し、吉川英治記念館において、展示事業や自主事業を開催します。	○令和3年度取組状況 1 展示事業 ①春季展示「吉川英治の書簡展」 (1)会期:4/3～6/27 (2)入館者数:882人 ②夏季展示「青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト～吉川英治と市所蔵直筆資料展～」 (1)会期:7/10～10/3 (2)入館者数:1,845人 ③青梅市市制施行70周年記念秋季展示「『新・平家物語』の世界」 (1)会期:10/9～12/19 (2)入館者数:2,204人 ④青梅市市制施行70周年記念新春展示「市民所蔵の吉川英治作品展」 (1)会期:1/4～3/27 (2)入館者数:1,552人 2 自主事業 ①地域連携事業「五月人形展」 (1)会期:5/15～6/13 (2)入館者数:351人 ②辛垣城御城印配布 (1)会期:4/1～5/30 (2)配布枚数:198人 ③地域連携事業「青梅夜具地展」 (1)会期:11/2～11/28 (2)入館者数:1,275人 ④「秋のライトアップと夜間開館」 (1)会期:11/23～11/28 (2)入館者数:446人 ⑤地域連携事業「ひな人形展」 (1)会期:2/19～3/21 (2)入館者数:1,066人 他、各種事業を実施した。 ○次年度目標 令和4年度は季節展示4回、各種普及事業の実施を予定している。	○	公益財団法人吉川英治国民文化振興会より寄付を受けた吉川英治記念館について、令和2年9月に青梅市吉川英治記念館として開館し、2年目を迎えた。 展示事業については、年間4本の季節展示を予定通り開催することができた。 春季展示「吉川英治の書簡展」では、旧吉野村在住時に創作された書画を中心に、英治の文学作家とは別の側面を紹介した。 夏季展示「吉川英治と市所蔵直筆資料展～青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト～」では、コロナ禍による緊急事態宣言期間と重なったが、20～30歳代の女性層が多く来館し、新たな来館者層の開拓に繋がった。 市制施行70周年記念秋季展示「『新・平家物語』の世界」では、吉野村で執筆された吉川英治の大作「新・平家物語」を取り上げ、英治の直筆原稿や杉本健吉画伯の挿絵をもとに、ストーリーやその魅力を紹介した。 市制施行70周年記念新春展示「市民所蔵の吉川英治作品展」では、市民に対して市広報等で作品を募集し、展示することで大切に保管されてきた貴重な作品の数々から、吉川英治の新たな魅力を探ることができた。 また、自主事業については、「五月人形展」、辛垣城跡の御城印の配布、「青梅夜具地展」、「秋のライトアップと夜間開館」、「ひな人形展」などを新型コロナウイルス感染対策を講じながら取り組んだが、入館者数が目標に達しなかったため、評価を「○」とした。
	文化課(美術館)	65 展示・普及事業	テーマに沿った特別展や企画展、共催展として年4～5回、美術展を開催します。 青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品を年4～5回程度展示替えし、紹介します。 また、美術館のほかに、市役所2階の展示スペースを活用し、年3回展示替えをし、紹介します。 実技講座、美術講演会、ギャラリーガイド等を実施し、美術への関心を深めていただきます。	○令和3年度取組状況 ＜美術展の開催＞ ・特別展「明治水彩隠れた巨匠一五百城文哉作品展」 会期 4/10(土)～5/30(日) 観覧者数1,755人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/27～5/14まで臨時休館 ・特別展「創立100周年記念青梅信用金庫所蔵美術展」30作家46点 会期 9/18(土)～11/7(日) 観覧者数 5,305人 ・共催展「アートビューイング西多摩2021～開花するアート」21作家40点 会期 11/20(土)～1/16(日) 観覧者数 1,136人 ・共催展「青梅市小学校造形作品展」約1,000点 会期 1/29(土)、30(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・館蔵企画展「生誕130年～小島善太郎展」1作家49点 会期 2/11(金・祝)～3/27(日) 観覧者数 1,138人 ＜小島善太郎、藤本能道の作品展示＞ 青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品を常設展示コーナーに各展示会会期中に毎回4点程度展示した。 市役所2階展示コーナーに小島善太郎、藤本能道の作品を展示した。年3回展示替えを行った。 ＜実技講座等の開催＞ ・実技講座「交流授業」(西多摩地域児童対象) 実施日 10/8(金)～10/29(金)(計6回) 参加者計 285人 ・鑑賞講座「美術鑑賞教室」(第七小児童対象) 講師 原田丕氏 実施日 12/9(木) 参加者 17人 ・参加作家によるギャラリートーク 実施日 12/12(日)、1/9(日) 参加者計 21人 ・ワークショップ(一般対象) 講師 下向恵子氏 実施日 12/19(日) 参加者 8人 ・講演会(一般対象) 講師 松本隆氏 実施日 12/19(日) 参加者 15人 ○次年度目標 令和4年度は特別展2回、館蔵企画展2回および常設展ならびに市役所展示を予定する。	○	新型コロナウイルスの影響により、集客力の高い特別展会期中の臨時休館や市民の来館者の多い共催展「小学校造形作品展」が中止となったが、年間9,000人以上の方に展覧会を観覧いただくとともに、実技講座、ギャラリートーク、講演会、ワークショップおよび鑑賞教室など多くの企画を実施し、子どもから大人まで幅広い方々に学習の機会を提供することができたため「○」と評価した。
	選挙管理委員会	66 明るい選挙推進講演会	明るい選挙を推進していく観点から、明るい選挙推進委員および一般市民を対象に、講演会を開催します。	未実施。	×	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	農業委員会	67 親子農業体験会	田植え・稲刈りといった農作業を体験していただき、市民と市内農業とのふれあいを図ります。	田植え ・6月12日に予定していた田植えは緊急事態宣言中のため中止。 稲刈り ・実施日 10月9日 ・参加人数 47人 収穫した米については、参加申込者に配布した。 次年度目標 参加者からは大変好評を得ているため、引き続き感染症対策を行いながら取り組みたい。	○	田植えは緊急事態宣言中で中止となったが、農業委員会による田植えの日程を参加者に周知し、田植えの様子が見られる機会を設けた。稲刈りは、感染症対策で前後半の2グループに分けて実施した。農業委員の指導の下親子で稲刈りを体験してもらい、収穫した米を後日精米し配布できた。
	商工観光課・青梅市観光協会	68 蛍を見る夕べ	成木川に発生する蛍の鑑賞会を開催し、保護育成に関する啓発パンフレット等を配布し、蛍の生育する環境についての理解と関心を高めめます。	令和3年度の「蛍を見る夕べ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、「蛍を見る夕べ」を開催することができなかった。
	社会教育課	69 生涯学習フェスティバル(釜の淵新緑祭)	新緑の釜の淵公園・郷土博物館・旧宮崎家・釜の淵市民館を生涯学習サークルの発表の場とし、楽しいイベントを通じた市民の交流の場とします。	生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2021～ 実施日 5月8日、9日 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により事業を開催できなかった。
	文化課	70		○令和3年度取組状況 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを実施することができなかった。 ○次年度目標 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら実施に向けて準備する。	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを実施することができなかったため、評価を「-」とした。
(3) ともに生きるための学習機会の充実	秘書広報課	71 国際交流活動支援	国際交流団体の国際交流事業に対する補助(国際交流基金)等の支援を行い、活動の活性化を目指します。	市内の国際交流団体(3団体)に対し、それぞれが主催する語学研修事業へ支援として、国際交流基金を原資とした補助金を交付した。 引き続き、国際交流の普及を図るため、国際交流基金を更に多くの市民に周知し、また、有効活用しながら、国際交流活動を支援する。	○	語学研修(ドイツ語、中国語)に対し補助を行い、市民の国際交流の推進の一助となっている。
	秘書広報課	72 通訳ボランティア	青梅マラソン大会参加外国人選手の通訳を、ボランティアの協力を得て、国際的な交流の輪が広がるよう支援します。	英語、中国語(北京市民招待選手団向け)およびドイツ語(ポツバルト市民選手団向け)通訳・案内ボランティアによる支援を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、大会が延期された。 引き続き、青梅マラソン大会に参加する外国人選手を通じて、国際交流の輪の拡大を支援する。	—	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、大会が延期された。
	市民安全課	73 平和の写真展の開催	世界の恒久平和を希求することをテーマとした写真展を開催し、市民が平和について考える機会とします。	「中村哲写真展 人・水・命～中村医師35年の歩み～」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	—	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となったため。
	市民活動推進課	74 男女平等講座の開催	男女平等参画の視点に立った講座を実施します。	男女平等参画の意識啓発のため、各種の啓発講座を開催した。時期によって新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかったものがあった。パネル展を市役所・市民センター等で実施し、啓発を図った。 リモートでの講座なども含め講座を開催していきたい。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、実施できなかった講座が一部あったものの、概ね予定通りにオンラインによる開催も含め実施できたため。
	市民活動推進課	75 女性の就業支援	働く女性の能力開発および就業意欲向上のための講座を開催し、情報提供を行います。	ハローワーク青梅および商工観光課と共催で、これから働こうとする女性を対象とした「女性の再就職支援パソコン講座」を開催した。11月17日～30日(全4回) 参加人数:延べ24人 また、商工観光課と共催で、働く女性を対象とした「働く女性のスキルアップパソコン講座(エクセル関数)」を開催した。12月11日参加人数12人	○	再就職およびスキルアップのためのパソコン講座を新型コロナウイルス対策を講じながら開催できたため。
	市民センター	76 老壮大学	教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講演会・講習会を行います。青梅老壮大学、調布ことぶき大学、霞老壮大学、梅郷老壮学園、小曾木老壮大学、東青梅老壮大学、河辺老壮大学	・(青梅C)(青梅老壮大学)各種講座を開催した。参加人数:199人 ・(長淵C)(調布ことぶき大学)講演会等の行事を開催した。延べ参加人数:51人 ・(大門C)(霞老壮大学)各種講座を開催した。延べ参加人数:300人 ・(小曾木C)(小曾木老壮大学)可能な限り講演会を開き、学生間の交流を図るべく各種講座、講演会を11回実施した。延べ参加人数:306人 ・(東青梅C)(東青梅老壮大学)教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために講演会等の事業を開催した。延べ参加人数:364人 ・(河辺C)(河辺老壮大学)各種講座、講演会を開催した。延べ参加人数:435人	○	年間の実施回数は、新型コロナウイルス感染症防止対策により減少したものの、引き続き開講の設定をしたため。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(3) ともに生きるための学習機会の充実	福祉総務課	77 社会を明るくする運動	人々が互いに助け合い、希望を持って生きることのできる明るい社会を目指して、座談会やチラシの配布など啓発事業を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ポスターの掲示によるPR活動および啓発活動のみ実施した。 市内11中学校へ啓発用CDを配布した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため駅頭等による啓発活動や集会による活動は中止とした。 (次年度目標) 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、強調月間に合わせ、保護司や地域の中学生とともにJP河辺駅、東青梅駅、青梅駅等での啓発活動や各地域での座談会等を開催し、運動のPRと啓発活動を実施する。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制約された中で可能な啓発活動ができた。
	高齢者支援課	78 家庭介護DVDの貸出し	在宅の介護者やボランティアの方々の活動を支援するために、介護等のDVDを無料でお貸しします。	家族介護のためのDVD等の貸し出しを行った。 利用者数 1人 利用本数 3本 次年度についても事業を継続する。	△	利用者が少なく、DVDが古くなっているため。
	高齢者支援課	79 認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する、認知症サポーターを養成するための講師を派遣します。また、認知症サポーターに対し、ステップアップ講座を行います。	認知症サポーター養成研修を以下のとおり実施した。 ・実施回数 12回 ・養成サポーター数 252人 次年度についても事業を継続する。	○	認知症サポーターを増やし、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりに取り組んだ。
	高齢者支援課	80 家族介護教室	高齢者を介護している家族等を対象として、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等の知識・技術を修得する教室を開催します。	介護の日イベントに合わせて講座を開催した。 実施日:11月11日 内容:初めての介護～家族に支援が必要になったら～ ・「大人用おむつのお付き合い編」 ・「選んで安全! 転ばぬ先の杖編」 参加者数:計29人 次年度も継続して開催する。	○	高齢者を介護している方、ご家族やご自身の介護に備えたい方などを対象に、具体的な介護の内容について伝えることができた。
	障がい者福祉課	81 手話講習会事業	福祉に対する関心を高め、地域福祉を推進するため、手話の初・中・上級講習会を開催します。 初・中級講習会は、障害者団体等と協働で実施します。	青梅市聴覚者協会との協働事業として、初級手話講習会および中級手話講習会を実施した。また、隔年で青梅市社会福祉協議会が実施している上級手話講習会が、令和2年度にコロナ禍により延期となったため、令和3年度も引き続き補助金を交付した。	○	初級手話講習会および中級手話講習会は、ともに15人の受講者があり、合わせて年間32回講習を行い、おおむね順調であると判断した。
	障がい者福祉課	82 点字図書貸付事業	視覚障がい者の方に、点字図書を貸付し、その活動を支援します。	障がい者のしおりや、市ホームページ等で周知を行ったが、令和3年度は利用がなかった。	△	令和3年度は利用実績がなかったが、視覚障害者への支援のひとつとして、効果的な事業であると認識している。 貸付対象者の方への周知方法およびニーズの把握等制度の有効活用対策を講じる必要がある。
	障がい者福祉課	83 身体障がい者自動車運転教習事業	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行います。	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行った。 助成件数 2件	○	自動車教習は例年利用実績があり、心身障害者の社会参加の拡大に効果的な事業であると判断している。
	障がい者福祉課	84 相談支援事業	市の窓口で、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで社会生活の自立に向けた支援をします。	障がい者福祉課、青梅市障がい者サポートセンター、青梅市障害者就労支援センターで実施。 ・市役所障がい者福祉課 実利用人数1,202件 ・障がい者サポートセンター 延べ相談件数11,461件 ・障害者就労支援センター 延べ相談件数6,517件	○	市の窓口等で、障害のある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、また必要に応じ関係機関への橋渡しを行い支援ができた。
	障がい者福祉課	85 意思疎通支援事業	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する行事などに手話通訳者・要約筆記者を派遣します。	障がい者のしおりや、市ホームページ等で周知を行ったが、コロナ禍により行事などの開催が見送られることが多かったため、令和3年度は派遣実績がなかった。	○	令和3年度は派遣実績がなかったが、例年利用実績があり、障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮のひとつとして重要な事業と認識している。
	障がい者福祉課	86 青梅市障がい者サポートセンター事業	障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行い、障がいのある方の創作活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等を行います。また、障がいのある方やその家族、障がい者団体等が活動する場を提供し、障がいのある方の自立の促進を図ります。	条例・規則に定めた支援を実施した。 ・相談支援 延べ相談件数 11,461件 ・創作活動や生産活動 延べ参加人数 3,484件 ・施設貸出し 延べ利用人数 722件 ・生活支援(パソコン指導・療育指導) 延べ人数 330件	○	相談支援件数が増加しているが、これは、障害福祉サービスのサービス等利用計画の作成の影響と考える。 本事業により、障害のある方やその家族等への支援を行い、障がい者の自立の促進が図れた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(3) ともに生きるための学習機会の充実	障がい者福祉課	87 中等度難聴児発達支援事業	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援します。	身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援した。 給付件数1件	○	本事業は、平成25年度からの事業で、手帳の交付対象とならない難聴児に対する支援であり、手帳取得に至らない中等度難聴児の発達支援を行うには効果的な支援制度と判断している。 耐用年数の経過により、既に給付している対象者に再支給することもあるため、制度の継続は不可欠であると判断する。
	社会教育課	88 ともに生きるための教室・講座の企画運営	地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。 高齢者の生きがい、男女平等、人権平和・国際理解、障がい者の学びの場を実現し、地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。	・【リモート】女性向けパワーアップ講座「育児休業復帰に向けて自分を見つめ直してみませんか」(10人) 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 ・【動画配信】英語で楽しむルイジアナ料理	○	リモートや動画配信を活用し、多文化理解や女性の働き方などの講座を実施した。
	社会教育課	89 生涯学習まちづくり出前講座	市の施策や事業等をテーマに、市職員等が市民のところへ出向いてお話しする出前講座を実施し、市民が自分達のまちについて学ぶ生涯学習の機会を提供します。	講座名「青梅市の防災対策(地震・風水害)～自助・共助・公助～」以下14講座 防災課以下8課 延べ受講者数 817人 19件申請のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、5講座が中止となった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行って実施できるようにする。	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広報に掲載できないなど、周知が難しく受講者数については微増という結果となったため。
	青梅佐藤財団・社会教育課	90 国際理解講座	1 世界に広がる教室 次代を担う青少年(小学4年生～高校生)のために、国際的な視野と教養が身につくよう支援します。(英会話と文化講座) 2 外国人日本語講座 外国人が日本語を正しく理解し、安全で快適な市民生活が送れるよう講座を実施し、支援します。(正しい日本語の学習「音声・文字・助詞」)	・小学生講座 実施日 6月26日～3月12日(全20回) ※1回(開講式)は書面開催。16～19回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 小学校4年生22人、小学校5年生21人、小学校6年生18人 計61人 ・中学・高校生講座 実施日 6月26日～3月12日(全20回) ※1回(開講式)は書面開催。16～19回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 中学1年生14人、中学2年生12人、中学3年生2人、高校1年生1人 計29人 ・外国人日本語講座 実施日 5月19日～11月24日(全18回) 内容 正しい日本語の学習、音声、文字、助詞 参加人数 13人 英語やひらがなの多様など、外国人にわかりやすい周知を実施する。	○	世界に広がる教室は合計で90人の参加者を迎えて講座を実施した。今後とも多くの受講生に参加してもらえるよう広報していく必要がある。 外国人日本語講座は、例年通りの5月に開始し、11月の閉講式までの18回を実施することができた。
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	高齢者支援課	91 介護予防講演会	介護予防に関する基本的な知識の普及啓発のため講演会を開催します。	介護予防、認知症予防等に関する講演会を2回開催した。 ・介護予防講演会「いつまでも元気はつらつ！ 今日から始めるフレイル予防」 実施日：8月30日 講師：植田拓也氏(東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター副センター長) 参加者：15人 ・認知症講演会「目の前の方を支えたい！」から始めたこと 実施日：9月27日 講師：野元美子氏(看護師) 参加者：15人 次年度も継続して開催する。	○	介護予防講演会では、「コロナ禍におけるフレイル予防の大切さ」をテーマに、自身で取り組めるフレイル予防の方法等について伝え、在宅高齢者の健康維持・増進を目指した。 また、世界アルツハイマー月間にあわせ、認知症講演会を開催し、認知症に関する情報や正しい知識をもとに理解を深めることを目指した。
	高齢者支援課	92 介護予防教室	高齢者の健康寿命延伸、介護予防を目的に、健康チェックや集団での運動などを行います。	介護予防教室を下記のとおり実施した。 ・健康長寿のび～る教室 7回×年1回 10回×年1回 計 35人(延べ236人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10回コースの予定を7回に縮小して実施 委託事業者：医療法人社団和風会 会場：長淵市民センター、文化交流センター ・脳イキイキ教室 全6回×年3回 計50人(延べ275人) 委託事業者：株式会社ジェイレック 会場：河辺市民センター、福祉センター、新町市民センター 次年度については、10回の講座を年2回開催する。	○	新型コロナウイルス感染症の対策として、回数や人数などを、調整をしながら実施することができた。介護予防や認知症予防として教室参加による閉じこもり予防や仲間づくりを行うことの大切さも伝えることができた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	健康課	93 おうめ健康まつり	医師による健康相談、健康チェック、歯科相談、展示、体験等のコーナーや健康に関する講演など、市民一人ひとりが家族ぐるみで楽しく健康づくりを学べる催しです。	【取組状況】4年度実施に関する会議開催 三師会3役会議12月16日 三師会役員会議2月10日(降雪のため中止) 三師会役員会議3月17日 【次年度目標】 感染症対策を考慮した開催について、協議する。	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。
	健康課	94 健康教育	生活習慣病の予防とその他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、健康の保持増進を行うための講座や教室を実施する。	【取組状況】 健康講座3回(79人)、ヘルスアップ教室16回(124人)、ヘルスエクササイズ12回(171人)、90分運動教室6回(77人)、骨密度検診時教育10回(751人)、体組成測定会9回(72人) 【次年度目標】 2つの運動教室を統合し参加者数を増やす。内容の充実を図るため、体組成測定会では栄養士による教育を実施し、骨密度検診時には対象者を区分し、より適切な教育を図る。	○	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、事業を実施した。 体組成測定会を新たに行い、40～64歳の若い年齢層の参加者が増えた。
	健康課	95 健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、自分の健康管理を行うための健康相談を実施する。	【取組状況】 健康相談:中央図書館8回(94人)、健康センター6回(14人) 【次年度目標】 栄養相談は予約制とし、適切な対象者と内容の充実を図る。	○	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、事業を実施した。
	総合病院管理課	96 おうめ健康塾	当院の医師・看護師等が講師となり、疾病の原因、治療、予防等について話し、質問にもお答えします。年間11回の開催予定です。	令和3年11月よりオンライン配信版おうめ健康塾を実施。当年度内に3本の動画を公開。 次年度以降についても、引き続き市民ニーズに沿った動画を公開。	○	感染対策を考慮し、オンライン配信という形でおうめ健康塾を実施した。
	スポーツ推進課	97 健やかに生きるための教室・講座の企画運営	市民が健康な生活を送れるよう支援する教室・講座を開催します。 1 短期スポーツ 気軽に楽しく誰にでもできるスポーツ教室を開催します。 2 長期スポーツ教室 青少年の心身の健全育成を目的とした剣道・柔道教室を、年間を通して開催します。 3 ジュニアスポーツ教室 小学生のスポーツへの関心を高め、各種スポーツの紹介、体験を通して自身の適性を知り、興味や親しみを持ってもらうことを目的として開催します。 4 障がいの有無や年齢・性別にかかわらず、誰でも楽しめるスポーツの教室等を開催します。	・柔剣道スポーツ教室 柔道教室 延べ119教室(1,420人) 剣道教室 延べ182教室(1,828人) ※括弧内の人数は延べ参加人数 ※ジュニアスポーツ教室の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	○	各種スポーツの教室を通じて、競技スポーツに関心を持っていない方へ様々なアプローチを行った。 教室を実施する際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った。
社会教育課	98	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 ・作業療法学生による認知症予防講座(45人) ※括弧内は講座の延べ参加人数	○	市民会議の企画講座で新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、老化予防や健康に関する運動講座を実施した。		
スポーツ推進課	99 各種体操教室	市民の健康・体力づくりを目的とした各種体操教室を総合体育館で実施します。幼児、小学生、親子、勤労者、女性、中高齢者など、対象別の各種教室を企画・開催し、参加者にとって魅力のある教室の運営を図ります。	【当日参加制教室】 教室名:ホップステップ体操、いきいき体操、はつらつ体操、シェイプアップ体操、のびのび体操、男性のヘルシー体操、リフレッシュ体操、フレッシュアップ体操 会場:第1スポーツホール・第2スポーツホール 延べ参加者人数:2,355人(114回開催) 【登録制教室】 教室名:太極拳、バドミントン、Jr.フットサル(児童)、パワーヨガ、骨盤調整ヨガ、ボディバランスストレッチ、ソフトエアロビクス、コンディショニングバレエ、チアダンス、figure8、骨盤エクササイズ木曜、リラクソヨガ、アクティブヨガ、体幹エクササイズ(初級・中級)、体操(幼児・児童)、ZUMBZGOLD、ZUMBA、KID'SHIPHOP、骨盤エクササイズ土曜、コンタクト(ベビー・すくすく・わくわく) 会場:第1スポーツホール、第2スポーツホール、第1会議室、幼児室 延べ参加者人数:1,797人・53組(289回開催)※手話教室は含まない。	◎	指定管理者の自主事業として実施し、多くの方に参加いただいた。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	100 青梅マラソン大会	スポーツを通じてボランティアをする機会を提供します。 全国の市民ランナーと国内外の招待選手が青梅に集い、マラソンを通して選手と市民がスポーツ・文化交流を深めます。 30キロの部、10キロの部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期し、代替としてオンラインマラソン「青梅ロードレース2022バーチャル」を実施した。 実施期間 2月11日～2月28日 参加人数 3,026人 10キロの部 598人 30キロの部 2,399人 ペア5キロの部 29人	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スマホアプリ活用し、期間内に個々で規定距離を走る方式にて開催した。 青梅マラソン大会の実施を予定していた2月20日には「げんき～ず」をゲストとし、10キロのコース沿いを走行するイベントも実施した。
	スポーツ推進課	101 有酸素運動普及事業	気軽にできるウォーキングや軽体操等の有酸素運動普及・促進に関する事業を開催し、市民の体力・健康の維持増進の取組への意欲向上に寄与します。	・ウォーキングフェスタ 11月23日(祝日) 青梅・長淵地区を中心とした約10キロの市内コースを歩いた。 参加人数 96人 ・オクトーバー・ラン&ウォーク2021 開催期間 10月1日(金)～10月31日(日) 参加人数 ランニングの部 130人 ウォーキングの部 609人	○	ウォーキングフェスタを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を市内在住、在勤、在学者に限定し、3年ぶりに開催した。参加者からは次年度の開催を望む声を多くいただいた。 スマートフォンアプリを用いて自治体間で走行・歩行距離を競うランニング・ウォーキングイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」に青梅市として参加し、コロナ禍においてもスポーツを楽しむよう、個々で取り組むことができ、スポーツを始めるきっかけとなる機会の提供を行った。
	スポーツ推進課	102 スポーツ・レクリエーションフェスティバル	スポーツ・レクリエーション活動を全市民的な規模で実践する場を提供することにより、市民一人一人の活動への参加意欲を喚起し、生涯スポーツを振興します。	スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	—	
	スポーツ推進課	103 市民体育大会	市民の体力づくりと技術の向上を図ることを目的として、青梅市体育協会に委託し、各種大会を実施します。	市民体育大会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	—	
	スポーツ推進課	104 奥多摩溪谷駅伝競走大会	80回を超える歴史と伝統を誇る大会で、200チーム以上が冬の奥多摩路を疾走します。一般、大学、高校、女子、中学生、小学生、支会・自治会の部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般、大学、高校、女子、支会・自治会の部のみとし、チーム数を制限して開催した。 実施日 12月5日 参加チーム数 246チーム	○	新型コロナウイルス感染症対策を講じて安全に実施し、2年ぶりの開催となった支会・自治会の部で大会新記録が樹立された。
	スポーツ推進課	105 屋内温水プール開放事業	市内にある民間温水プールを借り上げ、年間を通じた市民の健康、体力づくりの場として提供します。	実施日 毎週日曜日 24回開放 利用人数 大人572人 小人300人 合計 872人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月1日から10月10日まで開放中止。	○	新型コロナウイルス感染症の影響により開放日数は少なくなったが、年間を通じた健康、体力づくりの場として機能している。
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	市民安全課	107 広聴活動	市政に関する要望、意見、提案等を寄せていただき、市民参画によるまちづくりを進めるために役立てます。	市長への手紙の受付ボックスを市内の公共施設等34か所に設置し、いつでも市民の声を聴けるようにするとともに、要望書についても、随時受付を行った。 ・市長への手紙 184件 ・要望書 107件	○	市政に関する要望、意見等に対し、なるべく迅速に回答するよう努力している。 いただいた要望等は、今後の市政運営に役立てている。
	市民安全課	108 交通公園日曜映画教室	楽しみながら交通安全の知識が得られるように、幼児から親子を対象に交通安全の講話と映画上映を毎週日曜日に実施します。	交通公園の建物は、耐震性がないとの指摘を受けているため、建物2階を使った映画上映や講習会は、今後実施しない。	—	交通公園の建物は、耐震性がないとの指摘を受けているため。
	市民安全課	109 交通公園交通安全教室	楽しみながら安全な歩行や自転車利用法、交通マナーが習得できるように、保育園児や幼稚園児、小学生、高齢者を対象に交通公園で随時実施します。	幼稚園、保育所等の団体に対して交通安全教室を実施した。 利用：20団体 489人	△	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、自転車の貸出を制限している。 室内での講習・映画の上映はしない。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	市民安全課	110 交通安全講習会	青梅警察署および青梅交通安全協会と連携し、一般市民を対象に市内12か所の会場で、交通安全講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。春・秋の交通安全運動に先がけて、各12日間実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため令和2年度より中止。	—	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。
	市民安全課	111 セーフティ教室(交通事故再現方式)	交通事故再現方式による自転車安全教育を中学校において行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。	・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、4校は延期。 ・令和3年度は2校実施。(211人受講) ・次年度はローテーションを組み直し3校で実施予定。	—	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、2校でのみ実施。
	市民安全課	112 専門相談事業	専門相談員による各種専門相談(法律相談、人権の上相談、行政相談、交通事故相談、登記相談、相続・遺言等暮らしの手続き相談)を実施します。	・法律相談 (相談内容) 土地家屋の賃貸借、相続、離婚、債権債務、損害賠償など (相談回数) 80回 (相談件数) 469件 (相談員) 弁護士 ・交通事故相談 (相談内容) 交通事故による損害賠償問題、示談および保険手続きなど (相談回数) 18回 (相談件数) 33件 (相談員) 弁護士 ・登記相談 (相談内容) 土地・家屋の不動産や法人登記および境界に関する事 (相談回数) 12回 (相談件数) 68件 (相談員) 司法書士、土地家屋調査士 ・身の上相談 (相談内容) 家庭や身の上の悩み事、職場の差別やプライバシー侵害など (相談回数) 14回 (相談件数) 33件 (相談員) 人権擁護委員 ・行政相談 (相談内容) 国の行政機関や政令で定める法人の業務に対する苦情や要望など (相談回数) 14回 (相談件数) 6件 (相談員) 行政相談委員 ・相続遺言等暮らしの手続き相談 (相談内容) 相続に関する遺産分割協議書、遺言書等の書き方や手続きに関する事 (相談回数) 12回 (相談件数) 67件 (相談員) 行政書士	○	専門相談員による各種専門相談を実施し、市民からの相談に対し、解決等に向けての助言を行った。
	市民安全課	113 パネル展等(消費者知識習得・被害防止)	消費者知識の習得と消費者被害防止を図るため、パネル展示やパンフレット等の配布により啓発を行います。	市役所エントランスロビー、市民センター玄関ホール等において、悪質商法の手口等を紹介したパネル展示を延べ18回実施した。	○	市役所エントランスホールのほか、市内各所の市民センターでパネル展示等を行ったことにより、悪質商法をはじめとする消費者トラブルの事例と対処法についての啓発を行うことができた。
	市民安全課	114 消費者相談	契約上のトラブル、欠陥商品による被害を受けた場合などの相談を受けることで、相談者に消費生活上の知識を広げていただきます。 週5日(開庁日全日)	消費者相談は、開庁日に実施し、毎月第2・第4火曜日については、午後6時まで相談時間を延長した。 令和3年度相談件数: 876件	○	高齢者を対象とした悪質商法防止啓発をはじめ、生活の中で身近な消費者に関する題材等をテーマに講座を行い、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加、受講があり、啓発ができた。
	市民安全課	115 消費生活講座等	消費者問題や日常生活に役立つ身近なテーマを取り上げ、開催します。	消費者講座・啓発事業等(生活知識に関するもの3事業: 140人、環境・資源に関するもの1事業: 112人、食に関するもの3事業: 143人、計7事業開催し395人が受講した。	○	高齢者を対象とした悪質商法防止啓発をはじめ、生活の中で身近な消費者に関する題材等をテーマに講座を行い、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加、受講があり、啓発ができた。
	市民安全課	116 市民のくらし展	消費者団体等と協働で、市民生活に関する情報発信やコミュニティの大切さを啓発するため実施します。 年1回	市民のくらし展を実施する、青梅市産業観光まつりが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためスタンプラリー形式となったため、中止した。代替として、消費者啓発チラシをスタンプラリー会場に設置した。	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。
	環境政策課	117 環境月間	環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため、各種の啓発を行います。	・6月の環境月間の期間中、約1か月にわたり環境フェスタとして各種イベントを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、市役所1階にて市民団体のパネル展示を実施した。 ・3月15日おうめ環境ニュースを発行 環境フェスタについては、感染症状況に応じて開催形態を変更して対応していきたい。	○	市民団体と協議を重ねて、お互いに満足のいく事業を実施できた。特に「おうめ環境ニュース」について、市民団体と協働で編集を行うことで、市民目線の発行物を作成できた。

実施の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
（５）暮らしやすい環境のための学習機会の充実	環境政策課	118 親水事業	市民団体等と協働で、事業体験型や学習型の親水事業を実施します。	おうめ水辺の楽校運営協議会構成団体と協働で、小中学生を対象とした親水事業を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、多摩川の自然や生物多様性に関する動画を作成し、市内小学校にチラシを配布した。	○	コロナ禍で事業が実施できなかったところで、オンラインでの実施は初めての試みであったが、水辺の環境や生物多様性についての啓発となる動画が作成できたことで、今後の事業の新しい手法について選択肢を広げることができた。
	環境政策課	119 ヤマメの飼育体験教室	市内小学生がヤマメのふ化から放流までを体験することにより、自然の大切さや生命の尊さを知るとともに、青梅の身近な河川に親しむ場を提供します。	発眼卵配布 ・第六小学校(11月8日、90人)→感染症の影響で放流は中止 ・第七小学校(11月10日、30人)→感染症の影響で放流は中止 ・第二小学校(11月12日、80人)→3月11日稚魚放流 ・友田小学校(11月12日、54人)→3月10日稚魚放流	○	参加児童には発眼卵のふ化から成長までお世話をしながら観察することを通して、自然の大切さや生命の尊さについて考えてもらう機会になったと考える。
	環境政策課	120 動物愛護週間	市内のボランティア団体と協働で、動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めてもらうための各種啓発活動を行います。	9月に予定していた「動物愛護週間イベント in おうめ」(講演会、パネル展示)については、新型コロナウイルス感染拡大予防のためパネル展示のみ実施。 次年度は、感染症状況に応じて規模を縮小する等して対応していきたい。	—	パネル展示について、市民に対する動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めてもらうことができたと考えられる。
	清掃リサイクル課	121 フードドライブ	食品ロス対策の啓発として、家庭で余っている食べ物をお持ちいただき、集められた食べ物をフードバンク等に寄付する活動です。	新型コロナウイルス感染防止のためイベントが中止となったため、例年のようにイベントでの実施はできなかったが、令和2年7月よりフードドライブの常時受付を開始し、例年以上の回収量となった。 集められた食品は、市内こども食堂や福祉事務所に食品提供をしているフードバンク青梅に寄付した。 R3実績:117件 578.6kg R2実績:117件 395.4kg	○	フードドライブにより、ごみ減量および食品ロス削減を図ることができた。また、実際に寄付いただくだけでなく、電話での問い合わせも多数あるため、市民へ周知されてきていることが伺えた。
	清掃リサイクル課	122 ごみ処理施設見学会	市民のリサイクル意識の高揚と啓発のため、リサイクル製品再生工場等の施設見学会を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。
	清掃リサイクル課	123 市内一斉美化デー	ごみ減量の啓発および地域の環境美化向上のため、環境美化委員の協力により各地域の美化活動を行います。年2回	市内一斉美化デーを、5月9日と12月12日を中心として各地区ごとに実施し、5月が281人、12月が989人延べ 1,270人が参加した。	○	環境美化委員連合会を中心に、市内全域で多くの市民の協力により美化活動が行われると同時に、環境美化の意識の高揚が図られた。
	清掃リサイクル課	124 小学生ごみ減量・資源リサイクル推進ポスター&キャッチフレーズコンクール	社会問題になっているごみ問題について、その減量化や資源化の大切さを個々に考えてもらうよう、啓発を行います。	ポスター部門は小学校8校から75点の応募、キャッチフレーズ部門は小学校11校から236点の応募があり、10月7日に審査会、10月24日に表彰式を行った。入賞作品はホームページに掲載した他、市役所2階情報コーナーに展示し、金賞および最優秀賞作品は令和4年度ごみ収集カレンダーの表紙に使用した。	○	学校の協力等により、応募数もキャッチフレーズ部門については前年以上となり、多くの児童にごみ減量について考えてもらう機会となった。 また、入賞作品等を使用して、市民へごみの減量化や資源化について啓発を行うことができた。
	清掃リサイクル課	125 ごみ減量講座	資源循環型社会の目的理解と、ごみ減量を目指した学習を通して、ごみ問題についての啓発を行います。	新型コロナウイルス感染防止のため、ごみ減量講演会は中止としたが、ごみ減量をテーマに、出前講座(3回)を行い、ごみ減量の意識の向上を図った。	○	出前講座に142人の多くの市民が参加し、ごみ減量等の意識の向上を図った。
	梅の里再生担当	126 梅の里再生に関する学びの機会の提供	ウメ輪紋ウイルス被害からの梅の里の再生・復興に関し、地域の子供たちや市民に対し、学びの機会を提供します。また、教育機関と連携し、児童・生徒等に梅に関する体験の機会を提供します。	ウメ輪紋ウイルスによる被害からの梅の里再生への取り組みを映像化し、DVDとして作成した。 一般市民への貸出用として、中央図書館に3枚所蔵、また、学校教材等の団体への貸出用として、農林水産課に2枚用意した。 次年度目標 要望があれば引き続き、資料・教材として貸出していく。	○	地元である第五小学校から要望があり、教材として貸出を行った。
	社会教育課	127 暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	日常生活や環境を考え、暮らしに役立つ工夫やヒントを得る機会としての教室・講座を開催します。	・令和3年度農業・食育体験教室(182人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 1講座 182人 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施できるようにする。	○	暮らしやすい環境のための教室・講座として、1講座を実施した。
清掃リサイクル課	128 護美拾い合戦	「ごみ拾い」に「スポーツ」の要素を加え、健康増進と環境美化の推進を図る護美拾い合戦など、多目的な取組を行います。	実施なし。	×		
スポーツ推進課	129		新型コロナウイルス感染症の影響から、実施の計画を行わなかった。	—		

3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由	
(1) 地域コミュニティ活動への支援	企画政策課	130	ぶらっとフォーラム推進ワークショップ	「第六次青梅市総合長期計画」に位置づけたまちの将来像を実現するため、多様な主体の参画・連携・協働により、魅力的なまちづくりを目指す「施策運動型のしくみ」を推進するため、対話の手法を取り入れたワークショップを開催します。	「描こう！未来の青梅～〇〇〇なまちへ～」をテーマに、令和4年2月8日(火)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止とした。 令和4年度も引き続き、第7期青梅市総合長期計画策定にかかるテーマを設定し開催を予定。	-	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止とした。
	防災課	131	総合防災訓練	大地震による震災を想定した各種訓練のほか、避難訓練、初期消火訓練など住民参加型の訓練も実施し、防災意識の高揚を図り、防災知識や体験を深め、助け合い、協力し合う自主防災まちづくりを目指します。	新型コロナウイルス感染症感染防止対策をしたうえで、市および関係防災機関、市民等が一体となり、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた防災訓練を行った。 令和4年度以降も同様の訓練を行っていく。	○	新型コロナウイルス感染症対策用に新たに備蓄したテントや段ボールベッドを使用した避難場所の開設訓練を実施することができたため。
	防災課	132	防災ハンドブックの更新・配布	市民への防災知識の普及および啓発のため、平成27年3月に配布した防災ハンドブックを更新し、配布します。市民の自助・共助の精神を養い、災害に対応できるよう支援します。	令和元年度に更新し全戸配布済み。転入者への配布等については、継続して実施した。	-	令和元年度に終了した事業のため。
	市民活動推進課	133	市民活動災害補償制度	市民活動団体等が、活動中に不測の事故により、参加者や第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うことになった場合または参加者が負傷等された場合に保険で補償する制度を実施します。	・市民活動災害補償制度にもとづき、保険請求に係る事務手続きを行った。(市民活動推進係) 受付件数 傷害補償 1件 賠償責任補償 0件 合計 1件	○	自治会をはじめNPO団体などの市民活動団体の活動に関して、その活動が安全、安心して行えるように市が保険に加入し、ホームページや自治会へ配布した自治会ハンドブックに掲載、およびボランティア団体連絡会等で周知をして制度について認知が得られ活用されているため。 なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、活動自粛する団体が多くあり、保険受付数は少なかった。
	市民センター	134	自主学習グループ支援	自主グループが学習活動を継続できるよう、活動場所や資料作成のための印刷機などを提供するほか、日ごろの活動成果の発表の場として、市民センター文化祭などを開催します。	・自主グループの活動場所として、会場の貸出し、印刷機の貸出を行った。(各市民センター) ・(長瀬C)長瀬地区文化祭(11月、約260人参加)は、作品展示のみの開催として実施した。 ・自主活動グループと地域住民とで、日頃の活動発表の場として市民センター文化祭を実行委員会とともに計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの市民センターで中止とした。 次年度も市民センターを活動の場とする自主グループへの支援や発表の場としての当該文化祭の継続実施を予定する。	△	市民センターの使用は、緊急事態宣言の期間、制限したものの、それ以外では自主グループの活動場所として、会場の貸出し、印刷機の貸出を継続した。また、文化祭については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの市民センターで中止したため。
	市民センター	135	支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	地域活動がスムーズに行われるよう、地域に密着した施設として、会場や備品・用具の提供などにより、地域活動が発展するよう応援します。 地区運動会、各種スポーツ大会、講演会、研修旅行、総会・役員会など	・地域活動が円滑に行われるよう、支会、自主防災組織等各種団体の事務局として、また、地域に密着した施設として、活動の支援および会議等の会場、備品、用具の提供などの面での地域活動発展へ支援体制を整えた。(各市民センター) ・地区運動会等の地域行事および各団体の総会、役員会開催のほか、高齢者団体等の地域活動への積極的な支援を継続した。(各市民センター) ・地区運動会等の地域行事および各団体の総会、役員会開催のほか、高齢者団体等の地域活動への支援を計画したが、一部は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。次年度も支援を計画している(梅郷C)	○	地域活動が円滑に行われるよう、支会、自主防災組織等各種団体の事務局として、また、地域に密着した施設として、会議等活動の支援および会場、備品、用具の提供などの面での地域活動発展への支援した。
	清掃リサイクル課	136	環境美化大会	ごみ減量を中心に、市の環境衛生美化推進のため、環境衛生・美化善行者、団体等への表彰と講演会を行い、地域における市民活動を支援します。	美化大会と講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。 環境美化委員をはじめ、環境衛生・美化善行者・優良団体等について、表彰を行った。	○	美化大会と講演会については、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止したが、環境衛生・美化善行者・優良団体等について表彰を行い、地域における市民活動を支援した。
清掃リサイクル課	137	資源回収の奨励	自治会、子ども会等の地域活動の一環として、資源のリサイクルの必要性を認識し、リサイクルの促進に取り組み、ごみ減量を図ります。	141団体が実施。 資源回収量は2,484.021kg。 報償金28,258,624円、特別報償金7,354,655円を交付した。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の発出時に感染防止対策の徹底について協力をお願いした。各団体が感染拡大防止対策を図りながら資源回収に取り組んだことで、ごみの減量や資源の有効利用の推進、地域コミュニティづくりが図れた。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(1) 地域コミュニティ活動への支援	スポーツ推進課	138 地区市民運動会等支援	青梅市自治会連合会の各支会、地区体育振興会、三団地連絡協議会等に対し、地区市民運動会等交付金を交付し、地区体育の振興とコミュニティの醸成を図ります。	令和2年度より市民活動推進課の自治会振興交付金に統合したため、スポーツ推進課の対応なし。	—	事業終了。
	社会教育課	139 総合文化祭	青梅市文化団体連盟との共催により、市民の日ごろの学習成果発表の場として、各参加団体の舞台発表や作品展示等の総合文化祭を開催します。	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。	—	
	青梅市立第一中学校	140 クリーン活動	青梅大祭後の青梅の町を清掃する。生徒会を中心に、ボランティアを募って実施する。生徒の自主参加による活動。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から青梅大祭は中止となり、清掃ボランティアも中止とした。	—	中止のため評価不能。
	青梅市立第一中学校	141 多摩川1万人清掃活動	PTAを中心に、生徒に呼びかけて「多摩川1万人清掃」への自主参加を促し、清掃活動を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から多摩川1万人清掃は中止となった。	—	中止のため評価不能。
	青梅市立第二中学校	142 地域防災訓練	各自治会単位で行われる地域防災訓練に生徒が参加し、地域の防災意識を高めます。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 【次年度】中学生として、また地域の一員として防災訓練に参加し、地域防災の意識を高める。	—	中止のため評価不能。
	青梅市立第二中学校	143 地域清掃	学校周辺を含め地域を回り、ゴミを回収し美化活動に取り組みます。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 【次年度】中学生として、また地域の一員として地域美化に取り組む。	—	中止のため評価不能。
	青梅市立第二中学校	144 自治会運動会への参加	吹奏楽部が地域の自治会の運動会に参加し、演奏を行い地域との交流を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 【次年度】吹奏楽部が地域貢献の一環として、運動会での演奏に参加する。	—	中止のため評価不能。
	青梅市立第二中学校	145 多摩川1万人の清掃大会への参加	身近の多摩川を自治会と協力し、清掃活動へ参加することで郷土愛や地域とのコミュニケーションを図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 【次年度】中学生として、また地域の一員として地域美化に取り組む。	—	中止のため評価不能。
(2) 地域人材の育成と活用	防災課	146 防災リーダーの育成	自主防災組織の主体的な活動の要となる防災リーダーについて、計画的な育成を図ります。	防災リーダー講習会は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、動画配信形式によるオンライン研修として実施した。なお、自主防災組織連絡会は感染症対策から中止とした。 令和4年度も、感染状況を踏まえ実施内容を検討しながら講習会等を行っていく。	○	感染対策を講じながら防災リーダーの育成を進め、「自助・共助」の精神を基本とした自主防災組織の強化を図ることができたため。 連絡会については、参加者の対話形式による開催を予定していたため、中止とした。
	市民センター	147 子ども会ジュニアリーダー講習会	子ども会の最上級生となる小学校6年生を対象に、子ども会リーダーのあり方や行事計画の立て方、ゲーム指導などの講習会を行い、下級生の面倒を見ながら、子ども会活動ができるようにします。	ジュニアリーダー講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。(各市民センター)	—	各種事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したため。
	市民センター	148 子ども会育成指導者講習会	子ども会育成会役員などを対象に、子ども会活動のあり方や運営のポイント、レクリエーションのポイント等について研修会を行い、地域子ども会活動の活性化を図ります。	ジュニアリーダー講習会に子ども会育成会役員等も参加し、地域の子供会活動の活性化を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ジュニアリーダー講習会ははども中止とした。	—	各種事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したため。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 地域人材の育成と活用	市民センター	149	地域の特性を生かした事業	各市民センターにおいて、その地域の特性を生かした講座・教室などを実施します。 ・(青梅C)各種講座を開催した。 ウクレレを弾いてみよう! 10月10日 参加者9人、青梅探訪うんちう講座&散歩~みんなの知らない永山~ 11月13日 参加者27人(社会教育課共催)、たまぐーで青梅大祭『蔭祭』講演会 11月24日 参加者55人、春休みだよ!たまぐーであそぼうよ! 3月30日 参加者51人(社会教育課共催) ・(長淵C)小学生を対象とした「親子マジック教室」(12月、12人参加)を実施しました。 ・(梅郷C、小曾木C、東青梅C、新町C)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座・教室を実施しなかった。 ・(沢井C)新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や感染防止対策を踏まえて、地域の高齢者を含む65歳以上の市民を対象に「らくらく健康体操教室」を開催し軽度な運動による健康づくりに取り組んだ(開催回数7回、延べ175人参加)。この他に予定していた自然観察ハイキング等地域資源を活用した事業は感染拡大防止のため中止した。次年度もこれらの継続実施を予定する。 ・(河辺C)65歳以上の市民を対象に「のびのび健康体操教室」を開催した。参加人数:222人 ・(大門C)素敵なお庭造り教室 11月4日 参加者15人 クリスマスリース作り教室 12月4日 参加者15人	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった教室等があった。
	公園緑地課	150	緑地管理ボランティア	・毎月第3土曜日(8月を除く)実施 ・永山公園内ボランティア管理緑地 ・下草刈りおよび支障木伐採等 以上の内容にて実施予定であったが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止のため。
	高齢者支援課	151	介護予防リーダー養成講座	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、自立した生活を送るために、介護予防について基本的な知識を身につけ、自分や家族、地域のために体操などを行う介護予防リーダーを養成します。 介護予防リーダー養成のための取り組みを下記のとおり実施した。 ・介護予防リーダー養成講座 全10回 11人(延べ99人) ・介護予防リーダーフォローアップ講座 全16回(延べ187人) ・介護予防リーダー交流会 全4回 25人 委託事業者:医療法人社団和風会 次年度についても事業を継続する。	○	新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、日程の変更など、調整をしながら目標の回数を実施することができた。介護予防リーダー養成講座を開催し、介護予防に関する知識の習得、地域や自宅で実践可能な体操の実践、自主グループ運営方法等について学ぶ機会および、住民主体の介護予防活動に向けた支援を行うことができた。
	高齢者支援課	152	シルバーマイスター制度	優れた技能、知識、経験等を有する高齢者をシルバーマイスターとして認定・登録し、市民の学習活動の講師や指導者として推薦します。(対象:65歳以上の方) マイスター認定者 18人 令和3年度認定者 4人 活動内容: 令和3年12月から地域サロンを開設し、シルバーマイスター(3人)によるイベントを開催した。 次年度についても、引き続きシルバーマイスターの拡充に努めるとともに、より多くのシルバーマイスターの技能を披露する機会を提供していきたい。	○	新たに3人のシルバーマイスターを認定したことに加えて、令和3年12月から開設している地域サロンにおいて、定期的にシルバーマイスターによる発表の場を設けることができた。
	商工観光課	153	吹上しょうぶ公園・梅の公園ガイドボランティア	花しょうぶまつり・梅まつりの期間中に、市民によるボランティアの協力を得て、園内のガイドをしていただくとともに、自然に親しみ、人とのふれあいの場を提供するため、ガイドの募集・講習会を行います。 ・吉野梅郷梅まつり 梅の公園ガイドボランティア (1)打合せ会を11月25日に実施した。 (2)講習会を2月22日、3月3日に実施した。 (3)新規募集をしたところ2人応募があった。 なお、「吹上しょうぶ公園ガイドボランティア」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	○	梅の公園ガイドボランティアは2人の新規応募があり、コロナ対策をした上で実施することができた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、「吹上しょうぶ公園ガイドボランティア」は実施することができなかった。
	農林水産課	154	青梅市森林ボランティア育成講座	初心者・未経験者を対象に、下草刈り、枝打ち、間伐などの森林施業に必要な知識や技術習得の講義・実技指導を行い、森林整備の新たな担い手としての森林ボランティアの育成・組織化を図ります。 令和3年度は、1年間で第11期を8回として、実践的な内容を中心に実施した。 第1回 7月10日 開講式、山歩き 14人 第2回 9月18日 中止 第3回 10月9日 座学と下刈り巣箱づくり 10人 第4回 10月30日 市場などの見学 10人 第5回 11月13日 間伐、道づくり搬出 11人 第6回 12月11日 間伐、搬出、ベンチづくり 13人 第7回 1月8日 除伐、丸太づくり、コースター制作 10人 第8回 2月26日 除伐、間伐、植林 7人 第9回 3月12日 間伐、ベンチづくり、閉校式 11人 延べ参加人数 49人(青梅市民) インフルエンザや新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、予定している講座の開催を目指す。	○	毎回講座終了前に受講者に作業日誌を記入していただいているが、ほとんどの受講者から充実した内容であった旨の記入があり、一定の成果があったと考えられる。 新型コロナウイルス感染症の影響で、第2回が中止となったが、効率良く、計画を立てることで充実した講座が開設できた。
	スポーツ推進課	155	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修会を実施するとともに、東京都スポーツ推進委員協議会等が主催する研修への参加を促します。 青梅市スポーツ推進委員協議会独自の研修会を実施するとともに、東京都スポーツ推進委員協議会主催の研修会に参加するなどして、委員の資質向上を図った。	○	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、研修会を実施した。 今後の継続性について、委員の選出に当たり後任者探しが困難になっている現状があり、スポーツ推進委員の選出方法等に関して今後検討が必要。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(2) 地域人材の育成と活用	社会教育課	156 青少年リーダー育成研修会事業	小学5年生から高校3年生までを対象に、異年齢集団による団体活動を通じて、自主性や社会性を養い、リーダーとしての資質の向上を図ります。	6月27日～8月22日 全5回 市役所、沢井市民センターほか 延べ参加人数 134人 今後は、更なる自主性・社会性の養育に繋がる研修会の実施に努める。	○	班活動や青梅の地域資源を生かした活動を実施し、仲間との信頼関係を築くことや、自主性・社会性の養育を図った。
	社会教育課	157 講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制度	地域の人材を発掘し、身に付けた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施し、地域の教育力の向上を図ります。活用を促進するため、ガイドブックを発行します。	教育委員会ホームページにて情報提供した。 個人 文化系 25人 体育系 5人 団体 文化系 1団体 地域の人材発掘のため広報による制度周知、募集等を行っていく。	○	制度周知、募集および登録者情報の更新を行った。
	社会教育課	158 芸術文化奨励賞	青梅市の芸術文化の発展を願って、地域で活動されている芸術家の方を発掘し、表彰します。	・【書道】 出口結子 第44回全国学生書写書道展公募中学生の部「文部科学大臣賞」受賞 ・【ダンス】 市立第三小学校ストリートダンス部Challenge7 全国ダンスパフォーマンスコンテスト2020全国決勝大会小学生オープン部門 レギュラー編成 第3位 ・【音楽】 市立第三中学校吹奏楽部 第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校A部門に出場 ・【音楽】 市立第六中学校吹奏楽部 第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門に出場 ・【音楽】 市立吹上中学校吹奏楽部 第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門に出場 ・【音楽】 市立泉中学校吹奏楽部 第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校A部門に出場 今後も芸術・文化活動に業績を上げた対象者の表彰を行っていく。	○	学校や文化団体へ、芸術文化奨励賞の周知を図るとともに、広報おうめ等を通じ、広く周知することができた。また、各大会結果を随時調査し、受賞状況の確認を行った。それによって、芸術・文化活動に業績を上げた対象者をもれなくリストアップできた。 基金をもとに、受賞者には記念品を交付した。
	社会教育課(図書館)	159 おはなし学習会	おはなし(ストーリーテリング)の初心者で、市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、実践を含めた勉強会を実施します。	・おはなしドーナッツ(経験者) 4月22日～3月18日 10回 延べ参加人数 141人 ・初級おはなし学習会(活動予定者) 7月8日～12月9日 5回 延べ参加人数 50人	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業開催中止とした期間もあったが、感染症対策を行いつつ、2事業を行い、合計で191人の参加を得た。
	社会教育課(図書館)	160 絵本のべんきょう会	市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、絵本の読み聞かせの実践を含めた勉強会を実施します。	・絵本のべんきょう会 7月9日～3月11日 5回 延べ参加人数 49人	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業開催中止とした期間もあったが、絵本のべんきょう会を年間で5回、49人の参加があった。
	商工観光課・青梅商工会議所	161 合同企業説明会in青梅	『地学地就』(地元で学んで地元で就職する。)をテーマに、多摩地域の学生と、新卒採用する企業との出会いの場を提供します。	2022年3月卒業見込の学生を対象に市内企業の説明会を実施した。	○	参加者42人のうち6人が正式採用となった。

4 学習情報提供と学習相談の充実

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由	
(1) 学習情報提供の充実	秘書広報課	162	「広報おうめ」への行政情報等掲載	月2回発行する「広報おうめ」に行政情報等を掲載します。	毎月1日、15日を発行日とし、24回発行した。市政情報等のほか、市民団体が開催するイベントや会員募集などについても掲載した。新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについても担当課より情報を収集し、積極的に情報発信した。	○	市政情報等の情報発信の充実に努めた。
	秘書広報課	163	市ホームページへの行政情報等掲載	市ホームページに行政情報等を掲載します。	ホームページにより広く市の情報や魅力の発信を行った。新型コロナウイルス感染症に関する各課から発信する情報を集約したページを作成し、知りたい情報をすぐに得られるよう配慮を行った。	○	市政情報等の情報発信の充実に努めた。
	情報システム課	164			秘書広報課へ移管。	—	
	防災課	165	土砂災害ハザードマップの作成	土砂災害ハザードマップを作成・配布し、危険区域の住民周知を行うとともに、土砂災害対応訓練を実施し、市民の防災意識の高揚と知識の習熟を図ります。	ハザードマップや危険区域については、地区の防災訓練への参加や出前講座を通して周知を図った。青梅市土砂災害対応訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止とした。令和4年度も、感染状況を踏まえ実施内容を検討しながら訓練等を行っていく。	○	参加者が少数の訓練や出前講座については感染対策を講じながらハザードマップや危険区域の周知を図ることができたため。 土砂災害対応訓練については、参加者多数となるため、感染対策として中止とした。
	市民活動推進課	166	男女平等情報紙	市民の関心と理解を深めるため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を年2回発行します。	市民等への男女平等参画の意識啓発のため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を10月と3月にそれぞれ30,000部発行し、自治会加入世帯および公共施設等へ配布した。次年度も、同様に情報紙の発行に努める。	○	情報紙は、市民が参画する編集委員会が企画・編集しており、毎号、記事内容、装丁などの更なる充実に向けて話し合いながら取り組んでいる。
	市民センター	167	市民センターだよりの発行	市民センターで開催される事業や地域の色々な行事などの話題をお知らせします。	・支会や自治会の行事を青梅市自治会連合会ホームページに掲載し、情報発信を行った。(各市民センター) ・センターだよりを発行し、市民センター行事や支会行事情報の周知に努めた。(各市民センター)	○	ホームページによるお知らせとともに市民センターだよりを発行することにより、より幅広い市民への周知が図れた。 各自治会へ回覧するなどにより、ホームページの閲覧などパソコン操作が苦手な方などへも、一定の周知ができた。
	市民税課	168	青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	西多摩地区税務協議会主催で、青梅税務署管内の小学5・6年生を対象に、書道作品の募集を行います。厳正な審査を行い、入賞者を決定、入賞作品の展示会(イオンモール、合同庁舎)および表彰を行います。	青梅税務署管内小学5・6年生から3,531点の応募があり、青梅市からは16校704人から応募いただき、うち特選6人、準特選1人、金賞6人、銀賞14人、銅賞11人、佳作34人計72人が入賞した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から表彰は中止となったが、入賞者の作品については下記会場にて展示を行った。 ・イオンモール日の出 イオンホール 会期 11月12日～14日 ・青梅合同庁舎(青梅都税支所) 会期 11月16日～19日 ・青梅市役所 1階エントランスロビー 会期 12月14日～24日 【次年度目標】 令和3年度同様に事業を実施し、税に対する意識向上を図り租税教育を推進する。	○	書道を通じて税に関する正しい知識の普及と意識の高揚を図り、租税教育の推進が図れたため。
	社会教育課	169	生涯学習だよりの発行	市の各種教室、講座、講演会、イベントや市民グループ・団体および西多摩の関係施設の生涯学習情報をまとめて提供し、市民の学習活動を応援します。年4回発行(4月・7月・10月・1月)	生涯学習だよりの部数を各回1,200部、年4回発行した。また、教育委員会と市のホームページにも掲載した。 市内の団体等からの情報を収集しながら発行していく。	○	生涯学習だよりの部数を各回1,200部、年4回発行した。また、教育委員会と市のホームページにも掲載した。
	社会教育課	170	社会教育事業の学校への周知	市民センター等で実施する生涯学習事業を積極的に学校へ周知をします。	講座開催ごとに、小・中学校などにポスター・チラシを送付するほか、生涯学習だよりを配布して周知した。	○	講座によって全校配布を行うなど、チラシの配布方法や枚数を変更した。また、子ども向けの講座や講演会は学校に申込みボックスを設置し、申し込みにやすくなるなど工夫を図った。
	社会教育課(図書館)	171	図書館報の発行	図書館の事業や新着図書を紹介する図書館報を発行します。	・図書館報 年5回発行 各回約100部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載	○	年5回発行し、図書館事業を紹介することができた。今後も内容の充実を図ることが課題である。
社会教育課(図書館)	172	ブックリストの配布	幼児、小学校(低・中・高学年別)および中・高等学校の児童・生徒に推薦図書リストを配布します。	・幼児向けブックリストを市内幼稚園、幼稚園、保育所を中心に5,115部配布した。 ・小学校(低・中・高学年)向けブックリストを市内の小学校を中心に5,741部配布した。 ・中高生向けブックリストを市内中学校に1,231部配布した。	○	保育所や幼稚園、小中学校など市内全域の幼児・児童・生徒にブックリストを配布し、図書館を紹介することができた。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(1) 提供の学習情報 の充実	社会教育課 (図書館)	173 分館図書館 だよりの発行	新着図書を中心に、特集なども組んだりしながら、市民への推薦図書を楽しく紹介する、図書館だよりを発行します。	・分館図書館だより 毎月発行(年12回)・各回115部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載	○	毎月発行し、発行時期に応じた特集や新着図書を紹介することができた。今後も内容の充実を図ることが課題である。
(2) 学習相談の 充実	社会教育課	174 生涯学習 相談	青梅市に登録された講師・指導者等の人材情報や生涯学習施設、講座・催し物、学習グループ等の情報にもとづいて学習相談を受け、市民の学習意欲が活動につながる相談体制を構築します。	窓口で随時情報提供を行うほか、ホームページによる周知を図った。 また、文化交流センターで活動している団体を紹介した冊子を活用し、案内を行った。	○	ホームページ、窓口や電話でのサークル紹介や講師紹介を行った。 文化交流センターの案内を作成し、活動内容による施設の紹介に努めた。

5 生涯学習推進体制の確立

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	令和3年度取組状況および次年度目標	担当課評価	評価理由
(1) 推進体制づくり	職員課	175 職員研修受講支援	「青梅市生涯学習まちづくり出前講座」等の生涯学習の推進を図るため、職員の担当業務に必要な能力の向上や知識を得るための研修受講を支援していきます。	業務に必要な知識等の修得を図るため、東京都町村職員研修所の実務研修に37人、東京都研修所等の公的機関が主催する研修に4人、その他各種研修機関が主催する研修に24人の職員を派遣した。 また、自己啓発学習を促す通信教育等を18人が受講した。 次年度も引き続き研修受講を支援していく。	○	令和3年度研修実施計画にもとづき、職層や経験年数に応じた研修に、効果的に職員を派遣することができたため。
	社会教育課	176 生涯学習推進本部	市長を本部長とする生涯学習推進本部(行政組織)で、生涯学習推進の目標・基本方針、推進計画を策定し、生涯学習推進施策を全庁的に進めます。	・生涯学習推進本部会議開催数 2回 第1回開催日 7月20日 第2回開催日 11月4日 内容 出前講座の実施状況、新緑祭の開催・中止について等	○	生涯学習本部会議を2回実施し、各課で行う出前講座の実施状況や青梅市の生涯学習に関する報告等を行い、青梅市の生涯学習全体の状況について議論した。
	社会教育課	177 生涯学習推進市民会議	学識経験者や生涯学習関係団体の代表者等からなる市民組織。市民の声を聴きながら、市と市民の協働で生涯学習推進施策を進めます。また、生涯学習推進市民会議企画講座を実施します。	・生涯学習推進市民会議開催数 3回 ・生涯学習推進市民会議企画講座 2講座(うち動画配信1講座) 延べ参加人数 45人	○	新緑祭の運営方法、開催の可否についての協議や市民会議企画講座の実施の促進等について話し合った。 また、「第六次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書」をもとに青梅市の生涯学習全体の状況について議論した。
(2) 基盤づくり	社会教育課	178 市民企画講座の募集	市民ニーズに合った講座を生涯学習推進市民会議等から募集し、市内の施設で開催します。	・生涯学習推進市民会議企画講座 2講座 ・「作業療法学生による認知症予防講座」全5回(45人) ・【動画配信】「英語で楽しむルイジアナ料理」	○	市民会議委員の協力により、講座を企画した。新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めながら開催した。また、感染予防の一環として動画配信を行った。
	社会教育課	179 アンケートの実施	講座や講演会の参加者にアンケートを実施し、市民の学習ニーズを把握します。	アンケート項目に今後参加したい内容を、過去のアンケートや実施内容から例を上げ、回答者が選択できるようにしたことにより、回答率が上がった。 アンケートの回答を講座や講演会のテーマ選びの参考としたい。	○	参加者のニーズがより把握しやすくなった。
	社会教育課	180 学習支援体制の構築	より多くの市民が学習機会を得ることができるよう、保育付きの教室や手話通訳者を配置するなど、学習支援体制の構築を推進します。	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、講座や講演会は、人数制限を行うほか、リモート開催や動画配信を行った。 今後は対面での講座、オンラインの講座それぞれの特性を生かした講座を行いたい。	○	家庭教育講演会は、Zoomを活用して3回の講演会を行った。

令和4年度

第六次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書

(令和3年度分事業)

発行 青梅市生涯学習推進本部

編集 青梅市生涯学習推進本部事務局

青梅市教育委員会教育部社会教育課

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1

令和4年度第六次青梅市生涯学習推進計画 進捗状況報告書
(令和3年度分事業)

青梅市生涯学習推進本部